

特71

854

在自阜題

祝文教科書

古鏡
虛土
人
者

東京書肆
二書房發行

301754000-0
特71-854

祝文教科書
岡野 敬胤 著

M27
DAC- 52



94108
168

在自真題

古鯨窟主人著

初級教科書

東京書肆二書房發行

◎祝文教科書序

世人多くは祝文を起草する事を容易の業に思へ
れ甚だしき誤解なり、何とあれば唯た皮相の考ひには祝
文を起草すること、何の面倒も無きが如くなれども、亦た
其實は祝文を起草するほど、最も至難なるものは無きな
り、今夫れ一篇の祝文を認むるに當りて、一の文意貫通せ
ざる所あるか、或は一の不吉なる語句ありとせよ、他の感
觸を損じ人の厚意を害すること、是れより太たしきを無
し、且つ延て是れより相互の間に紛議を起し、或は親交を
も絶つに至ること無しと謂ふ可らず、豈に祝文を綴るの



容易ならざること、亦た以て知り得べきに非ずや、余故に曰く、諸般の文章の中に於て、祝文を認むるほど最も至難なるものは無しと、殊に夫れ今や我國文運の盛んなる天文氣象、人事、農工商業、法律、行政、教育、宗教、衛生、慈善、警察、監獄、遞信、交通等悉く皆を何れも専門の用語あり、故に祝文を綴らんと欲せば、則ち先づ其専門の用語を搜索し來りて、以て其祝文を認むること、誠に緊要なり、然るに之を知らずして妄りに祝文を綴る時は、大笑を衆人より受さらんと欲するも、亦た其れ免かるゝことを得んや、然れども未だ世に祝文の軌範とするに足る可き書は、之あるを見

聞せず、是れ此書の發行ある所以なり、蓋し惟ふに世に祝文を綴るに資けとなるべき書は、未だ此書の如く用意の周到なるもの之あらざるを以て、若し夫れ此書を軌範として祝文を認むる時は如何ある祝文と雖も、又た其欲する儘に綴ることを得べきのみならず、相互の敬禮を欠くゝと無く、交際は益々能く親密に維持すること得べきなり、聊か所懐を此に記し、以て之を序と爲す

◎祝文教科書目次

◎祝文起草心得

◎人事

◎新年宴會賀辭

◎新年を賀する文

◎八日祝筵を開くる文

◎孝明天皇祭遙拜式執行の文

◎紀元節祝辭

◎上巳を祝する文

◎神武天皇祭祭典執行文

◎端午を祝す文

◎七夕の節句を執行する文

◎重陽を祝する文

一

五

全

六

全

七

八

九

全

十

全

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

- 天長節祝辭 十一丁
- 新嘗祭祝辭 十二丁
- 冬至祝筵を開く文 十三丁
- 忘年会祝詞 全
- 新婚祝詞 十四丁
- 妊娠を祝する文 全
- 生子を賀する文 十五丁
- 生女を賀する文 全
- 生孫を賀する文 十六丁
- 幼稚園に入るを賀する文 全
- 小学校入學を祝する文 全
- 中學校入學を祝する文 十七丁
- 高等中學校入學を祝する文 全
- 大學卒業を祝する文 十八丁

- 家督相續を祝する文 全
- 隠居を祝する文 十九丁
- 歸朝を祝する文 全
- 衆議院議員の當撰を祝する文 二十丁
- 多額納稅者の貴族院議員に當撰を祝する文 二十一丁
- 任官を祝する文 全
- 辯護士試験及第を祝する文 二十二丁
- 致仕の人を賀する文 全
- 縣會議員の當撰を祝する文 二十三丁
- 庭園の落成を祝する文 全
- 茶席落成を祝する文 二十四丁
- 新居祝宴の祝辭 二十五丁
- 古稀賀筵の祝辭 二十六丁

◎ 教育

- 銀婚式祝辭 二十七丁
- 郷友會祝辭 二十八丁
- 病院開院式祝詞 二十九丁
- 施療院開院式祝詞 三十丁
- 聖劍柔術道場開場式祝辭 三十一丁
- 禁酒會發會式祝辭 三十二丁
- 職業學校開校式祝辭 三十三丁
- 同窓會祝辭 三十五丁

◎ 教育

- 小學校開校式祝辭 三十六丁
- 開校二十年期會祝辭 三十七丁
- 年初開校の祝詞 三十九丁
- 教育會開場式祝辭 四十丁
- 女學校卒業式祝辭 四十一丁

- 幼稚園の開園を祝す 四十二丁
- 体操運動審判會答辭 四十三丁
- 小學校開校の祝辭 四十四丁
- 教育博物館開館式祝辭 四十五丁
- 教育品展覽會賞狀授與式の答辭 四十六丁
- 小學校開校式の答辭 四十七丁
- 音樂講習會始業式祝辭 四十八丁
- 小學校生徒卒業證書授與式 全
- 夏期講習會散會式祝辭 五十丁
- 前校長閣下の轉任を祝す 五十一丁
- 教育學講習會結了式告辭 全

◎ 神社佛閣

- 某寺本堂新築落成式の祝疏 五十三丁

- 大藏經修藏慶贊祝疏……………五十三丁
- 某神社再建竣工式祝辭……………五十四丁
- 某寺住職晉山式を祝するの疏……………全
- 某神社々務所上棟式祝辭……………五十五丁
- 保存資金下賜法會慶贊疏……………全
- 遙拜所新築竣工式祝辭……………五十六丁
- 説教所開場式祝辭……………全
- 某神社鳥居新築落成式祝辭……………五十七丁
- 宗祖謚號法會慶贊文……………全
- 入佛供養慶贊文……………五十八丁
- 博覽美術……………
- 博覽會開場式祝辭……………五十八丁
- 米穀共進會閉場式祝辭……………五十九丁

- 美術品展覽會發會式祝辭……………六十丁
- 水産……………
- 水産品評會閉場式祝辭……………六十一丁
- 乾魚輸出商開始業式祝辭……………全
- 牡蠣繁殖及製造法傳習會終業式祝辭……………六十二丁
- 捕鯨船進水式祝辭……………全
- 輕節品評會閉場式祝辭……………六十三丁
- 製鹽所開場式祝辭……………六十四丁
- 水産物罐詰法研究会起業式祝辭……………全
- 水産保護法施設式祝辭……………六十五丁
- 漁港燈臺建設式祝辭……………六十六丁
- 海面捕採場始業式祝辭……………六十七丁
- 海苔製造場始業紀年式祝辭……………全

◎農林

- 土質鑑別の成功を祝するの文……………六十八丁
- 作田の災害を免かれしを祝するの文……………全
- 蝗虫撲滅を祝するの文……………六十九丁
- 請願委員慰勞會祝辭……………全
- 地押査調結了慰勞會祝辭……………七十丁
- 小作種類調査會結了式祝辭……………七十一丁
- 林木共進會開場式告辭……………全
- 家畜組合の成立式を祝す……………七十二丁
- 開懇竣工式祝辭……………七十三丁
- 蠶業組合の結成式祝辭……………七十四丁
- 獸醫の開業を祝するの文……………全
- 共有貯蓄會創立式祝辭……………七十五丁

- 改良作米試験成績會結了祝辭……………全
- 種畜交換會始業式祝辭……………七十六丁
- 某小林區署開廳式祝辭……………七十七丁
- 製茶品評會閉場式の答辭……………全
- 耕耘會褒賞授與式告辭……………全
- 開村式祝辭……………七十八丁
- 競馬場建設落成式祝辭……………七十九丁
- 種物交換會閉場式祝辭……………八十丁
- 桑苗交換會發會式祝辭……………八十一丁

◎商業

- 時計店の開店を祝するの文……………全
- 小間物店の開業を祝するの文……………全
- 西洋小間物店の始業を祝するの文……………八十二丁

- 旅宿開業を祝するの文……………八十三丁
- 菓子屋の始業を祝するの文……………全
- 料理店開業を祝するの文……………全
- 兩換店の始業を祝するの文……………八十四丁
- 鐵物店開業を祝するの文……………全
- 砂糖味噌醬油問屋開業を祝するの文……………八十五丁
- 貯蓄銀行開業式祝辭……………全
- 米商會所創立紀年式祝辭……………八十六丁
- 生命保險會社代理店開業式祝辭……………全
- 株式取引所創立紀年式祝辭……………八十七丁
- 縫箔商店開業式祝辭……………八十八丁
- 吳服太物店開業式祝辭……………八十九丁
- 商業講習所開所式祝辭……………全

- 商標公示式祝辭……………九十丁
- 手形交換所開業式祝辭……………全
- 倉庫會社始業式祝辭……………九十一丁
- 商業會議所新築竣工式祝辭……………九十二丁
- 銀行開業式祝辭……………全
- 商業學校卒業證書授典式祝辭……………九十三丁
- 商品陳列所開場式祝辭……………九十四丁
- 勸工場開場式祝辭……………全

◎ 工業

- 紡績會社創設式祝辭……………九十五丁
- 工業談話會發會式祝辭……………九十六丁
- 油製造の創業を祝するの文……………九十七丁
- 袋物製造の始業を祝するの文……………全

- 傘製造の開業を祝するの文……………九十七丁
- 指物職の創業を祝するの文……………九十八丁
- 足袋縫職の始業を祝するの文……………全
- 洋服店開業式祝辭……………九十九丁
- 麥藁製工場始業式祝辭……………全
- 烟草製造所始業式祝辭……………百丁
- 製紙場建築落成式祝辭……………全
- 電燈會社紀念式祝辭……………百一丁
- 煉瓦工場營業擴張式祝辭……………全
- 寫真場新築落成式祝辭……………百二丁
- 船渠開業式祝辭……………全
- 陶器製造者組合結成式祝辭……………全
- 製藍會社開業式祝辭……………百三丁

- 瀛船大和丸進水式祝辭……………百四丁
- ギイヤツキ製造所始業式祝辭……………全
- 麥酒會社開業式祝辭……………百五丁
- 工業學校創立式祝辭……………百六丁
- 度量衡製造所始業式祝辭……………全
- 織物場始業式祝辭……………百七丁
- 活版職工組合結成式祝辭……………百八丁
- 炭礦會社始業式祝辭……………全
- 專賣特許紀念式祝辭……………百九丁
- ラムネ製造場開業式祝辭……………全
- 塗物職工組合結成式祝辭……………百十丁
- 土木水利……………
- 堤防築造落成式祝辭……………百十一丁

- 公園地開園式祝辭……………百一十一丁
- 橋梁架設竣工式祝辭……………百一十二丁
- 疏水開通式祝辭……………百一十三丁
- 惡水樋門改造落成式祝辭……………百一十四丁
- 某河河身改造落成式祝辭……………全
- 水道敷設竣工式祝辭……………百一十五丁
- 新道開道式祝辭……………全
- ◎法律
- 法學攻究會發會式祝辭……………百一十七丁
- 市町村制議義會發會式祝辭……………百一十八丁
- 府縣郡制講義會發會式祝辭……………百一十九丁
- 法理研究會始業式祝辭……………百二十丁
- 地方實務演習會閉場式答辭……………全

- 土地收用法聽講結了式祝辭……………百二十一丁
- ◎地方官衙
- 村役場新築落成式祝辭……………全
- 村役場移轉式答辭……………百二十二丁
- 縣衙移廳式祝辭……………百二十三丁
- 郡役所の移廳式を祝するの辭……………百二十四丁
- 直稅分署新築落成式祝辭……………全
- 間稅分署開廳式祝辭……………百二十五丁
- 市役所新築竣工式祝辭……………百二十六丁
- 區役所開廳式祝辭……………全
- 村會議事堂建築落成式祝辭……………百二十七丁

- ◎兵事
- 機動演習慰勞會祝辭……………全

- 徵兵慰勞會の告辭……………百二十八丁
- 某師團監督部下士官職務攻習會設立の祝辭……………百二十九丁
- 兵員召集事務演習慰勞會の告辭……………全
- 銃射會發會式祝辭……………百三十丁
- 滿期除隊訣別宴會の告辭……………百三十一丁
- 裁判登記警察監獄……………百三十二丁
- 某地方裁判所開廳式祝辭……………百三十三丁
- 執達使役場始業式祝辭……………全
- 登記所開廳式祝辭……………百三十四丁
- 巡查駐在所新築落成式祝辭……………全
- 警察署始業式祝辭……………百三十五丁
- 巡查教習所卒業授與式祝辭……………百三十六丁
- 監獄署新築落成式祝辭……………全

- 獄務演習會の答辭……………百三十七丁
- 遞信交通……………百三十八丁
- 郵便局開業式祝辭……………全
- 電信局開業式祝辭……………百三十九丁
- 某燈臺建築落成式祝辭……………百四十丁
- 海員講習所始業式祝辭……………百四十一丁
- 何鐵道開通式祝辭……………全
- 商船學校始業式祝辭……………全
- 議會……………百四十二丁
- 通常町會開會式祝辭……………全
- 臨時村會閉場式祝辭……………全
- 通常郡會開場式答辭……………百四十四丁
- 臨時郡會開場式答辭……………全

- 通常縣會開場式答辭……………百四十五丁
- 臨時縣會閉場式答辭……………全
- 土地收用法協議會閉場式祝辭……………百四十六丁
- ◎ 増補
- 製茶地方稅特免祝辭……………(農林)……………百四十七丁
- 經濟攻習會發會式祝辭……………(商業)……………百四十九丁
- 警察協議會發會式祝辭……………(警察)……………百五十丁
- 某君を祭るの文……………(人事)……………百五十一丁
- 同盟銀行報告會祝辭……………(商業)……………百五十二丁
- 學校衛生會發會式祝辭……………(教育)……………百五十四丁
- 某私塾生徒卒業證書授與式祝辭……………(教育)……………全
- 藥局秤量器製造始業式祝辭……………(衛生)……………百五十六丁
- 貯蓄銀行開業式祝辭…………………………百五十七丁

- 菓園開園式祝詞……………百五十八丁
- ◎ 諸家雜纂
- 橫濱商業會議所開業の祝詞……………百六十一丁
- 某米穀取引所開業式を祝す……………百六十二丁
- 學海指針社の發刊を祝す……………百六十三丁
- 電信開業式祝辭……………百六十三丁
- 奉賀 車駕還京文……………百六十六丁
- 駒場農學校開校祝辭……………百六十八丁
- 工部大學校 臨幸祝詞……………百六十九丁
- 日本美術協會祝詞……………百七十丁
- 祝博覽會開場文……………百七十一丁
- 露西亞語學校卒業式祝辭……………百七十四丁
- 生絲繭共進會褒賞授與式祝辭……………百七十六丁

◎ 諧體文

- 新年會社員諸氏に告ぐ……………百七十七丁
- 日就社長子安君新居新年會の頌詞……………百七十九丁
- 改稱節を祝する文……………百八十一丁
- 劇場の事に寄せて談洲樓主人をことほぐ辭……………百八十三丁
- ◎ 拾遺
- 雜誌北海道發刊祝詞……………百八十四丁
- 北海道の發刊を祝す……………百八十六丁
- 千葉公立病院開業祝詞……………百八十七丁
- 交詢社創立會祝詞……………百九十丁
- 呈取那亞公祝詞……………百九十四丁
- 京都織工場開業式祝詞……………百九十五丁
- 小笠原午橋六十壽序……………百九十七丁

凡例

一 祝文には祝文の法則あり其法豈に毫釐も之を亂ることを得んや然るに近來世上に其文法の何たるを知らず祝文を草し大典盛儀衆人列座の場に於て不齊不理の祝文を朗讀し以て自ら得意の容を爲す者あり其陋も亦た慨笑すべしと雖も亦た思ふに是れ世に未だ祝文を草する典範とすべきもの之あらざるの致す所に由れりとす是れ余が此書の著述ある所以なり

一 此書中に揚くに文例に甚た卑近なるものあり又稍や高尚に渉るものもあり然れども其甚だしき高尚なるものに及ばざる所以のものには是れ本書を上流社會の資用に供するものに非ずして中流以下の人々に便用せしめんことを目的とするに由るものなればなり

一 書中の用字は雅俗を折衷し文章も亦た之に倣ふ蓋し現今の人々が好尚に投ずるには勢ひ其此の如くせざる可らざるものあればな

且夫其用字文章は何れも探典敦實を專一とす是れ余の本書著
 述に苦心せし蹟を見るに足るべし若し夫れ世人此書に據て祝文を
 草せば識者の笑を取ることなけん
 一 前に言ふが如く本書は未達の人々の資用に供することを目的とし
 たるが故に書中の記事或は飯を噛みて赤兒を養ふの婆醜なきを保
 せず然れども余が未達の人を深く愛顧するの婆心は切にして之を
 止むべからず既達の君子は之を諒せよ
 一 書中の部門を分つや深く之を致ふ然れども彼門に編入して便な
 からざる者は此門に挿入し此門に挿入して便あらざるものは彼門
 に編入せり讀者此意を了せば亦以て例題を採し出すと容易なら
 んのみ

著者識

◎祝文教科書

古鯨窟主人編



◎祝文起草心得

祝文の要素の
 一は頌美なり。頌美の意を發表せんとするには先
 づ敬愛の意を失すべからず。已に敬愛に出づ故に賤視蔑視無禮不敬人
 意を害する如きものあるべからず。
 二は慶賀なり。慶賀の意を發表せんとするは先づ
 歡喜の情を失すべからず。已に歡喜なり故に不吉不祥人意を害する如
 きものあるべからず。世には御幣擔ぎとてシの音字を嫌ふものあり。凡
 そ如斯き人に對してはまたこの類些事と雖も慎重せざるべからず。然
 かれども慶賀頌美のみにては往々諛辭諂辭となるの嫌ひありて轉ろ
 の意を害ふものありまた慎むべしゆへにまた。

◎祝文起草心得

三 祝文の要素の三は箴規なり。然れども徒らに箴規のみに走り説教の如く道話の如きは極めて人意を歡喜せしむるに足らず故に箴規は敬愛と歡喜の餘りに出づるものならざるべからず何を敬愛と歡喜の餘りに出づるといふや。

其一 警誠、滿にして損を招くは世の常態なり故に其人の現在の慶事の喜ぶべきは喜び而して更に豫備すべき者は豫備すべきを示すにあり。これ警誠なり其二 推奨、人は良もすれば眼前の歡喜に遇ひて將來の進歩を忘る故に現在の樂事に安んぜずさらに益々増進し發達し隆盛を期すべきを促す。これ獎勵なり。この二事の意を失すべからず。已に敬愛歡喜箴規の意に出づるの文を作らんとせば其文體は宜しく左の如くならざるべからず。

一、壯重典雅、即ち重々しく立派に作る事なり。われ敬意なりといひなげら口にペランメーといはゞ其意を失するの甚しきものならずや

二、華麗流暢、即ちはなやかに讀流しよく作る事なり。これにあらざれば歡喜を發表するに足らず人心を歡ばすに足らず故に祝文には時に韻文を用ひ詩歌俳句の如きを假用するも妙にして頗るその意になへり文中にも對句を用ひまた古人の詩歌を引用する類多きまたこれによるなり。

三、鄭重懇懇、これ書翰文に於てわけてこの體に注意せざるべからず。規箴の語を行ふにまたこの體に注意せざるべからず。以上三要三體をもつて祝意を發露せば庶幾くはるの意を充すにたるべきなり。徒らに自己の學識を誇る博士の講義の如きもの徒らに自己の經驗に誇る老婆の意見の如きもの皆なるの宜しきところに非ず人意を樂ましめ人意を喜ばしめ人意を正さしむる點に於てよく均齊にるの要領を得るを妙とす。更に一事の心得べきものあり。この祝すべき題目によりては諧謔の文

を用ふるにあり。何故に諧謔の文を用ふるや、曰く歡喜の意は可笑に宜し、可笑は諧謔にしくものなり、これまた慶賀歡喜の餘意に出づるもの、狂文狂詩狂歌狂句皆な用ふるべし然かれども敬意は失ふべからずゆへに一猥褻を忌む、二無禮を忌む、即ち菓子舖の開店には菓子づくしの文をつくり酒樓の開業には酒饌づくしの文を用ふるが如き皆なこの意に出で人を樂ましむるもの多し、この書附録として二三を掲ぐ参考せばるの要を得べし

文體文意すでに如此なれば之を書するにもまた雅麗鄭重ならざるべからず紙料は奉書郵送は美濃紙用墨は濃黒文字は楷行自個もし拙ならば能者を撰み代筆せしめなるべく雅麗なるべきは敬賀の體にかなへり、書翰もまた奉書濃墨たるべし、記憶せよ用墨の淡黒なるは只た吊意に用ふるべし極めて悲哀を表するものなる事を。

編者識

○人事

●新年宴會賀辭

春來つて樂き乎我輩豈紙鷲竹馬を以て十二街頭に見童と嬉遊するを得んや春來つて哀き乎我輩索居離群世俗に悖て獨り太平の民たるに幸かんや且ろれ寒梅雪を凌いで南枝北枝齊しく笑ひ早鶯谷を出で一聲兩聲巧に歌ふ管絃簫々として以て歳首の賀筵を開き詩酒欣々として更に客年の雅盟を尋く豈黙々として一言の慶意を表するなかるべけんや然れども願りみれば我輩帽服を新にするも敢て其才を新にせず言々陳腐にして轉たこの年光の新たなるに愧るのみ

●新年を賀する文

坤輿一周して景祥ならび臻り萬象罄く麻暢ならざるはなし飲んで以みるに琴臺新たに佳禧を履む千禎萬壽疆りなし因て歳贊として詩箋一刀舊に依て聊か芹儀を表し莞留あらば欣幸なりこゝに寸毫を馳せ

○人事 ○新年宴會賀辭 ○新年を賀する文

敬んで賀詞を奉す餘は暹日花下脚盃の時を期す恐惶謹言

●人日祝筵を開く文

會聞く人日晴れば所生の物育つと幸ひに朝來快晴轉た欣喜の多きを
覺ゆ午下小亭に於て小筵を開き一話一笑この良辰に背かざらんとす
光臨を賜らば榮なり再拜

●孝明天皇祭遙拜式執行の文

傳に曰く夫れ孝は徳の本なり教の繇りて生ずる所なりと茲に先帝
孝明天皇の英靈を祭らせたまふ實に一月三十日なり恭く惟みるに先
帝大寶に在すの間外邦交通を請ひ人心洵々天步艱難の際に於て機要
多く宸斷に出づ是に於て乎恭政一變荐りに維新の革命を促し遂に今
日の隆治に至る其遺謀大なる哉臣民たるもの豈に其遺徳を仰かざら
んや況んや今上皇帝陛下の皇考なるをもつて重く祭典を行はせ
たまひ特に神陵へ奉幣使を遣はされ 躬親ら神殿に於て遙かに尊靈

拜し賜ふと余輩臣民豈亦空しく此日を経過すべけんや因て今年前十
一時某社祠殿に於て遙拜の式を執行し奉り聊か帝國臣民たるの寸衷
を表さんとす請ふ贊同を賜はらん事を

●紀元節祝詞

宇内廣く萬國は多しと雖も建國以來二千五百五十四年連綿永傳の皇
統を戴き國運日に月に進歩し日出騰々の勢威ある我國に若くものあ
らす朝には泰となり暮には漢となる宇内の諸邦富強をもつて誇るも
のと雖も皆な世代をかへざるはなし嗚呼我日出の邦獨り此榮光を輝
かす抑もこれ皇祖が英武にして萬世の鴻基を開きたまへるによると
雖も天の吾邦に賜ふところ厚きによらずんばあらず我國臣民たるも
の古來またこの餘徳に沐浴し所謂大和魂なるものを涵養しこの志氣
の發するところは旭日と光を争ひ櫻花と色を競ひ仁義忠孝の美德を
あらはせり今夫れ優勝劣敗は宇内の通理と稱され弱の肉は強の食と

なる爾く通理なりと雖もこれ獸類的の通理にして天の人間に賦すと
ころは豈斯くのことくならんや宜しく應に我國のことくならざるべ
からず是に於て乎宇内の趨勢獸力暴力を逞ふするに方り我國民たる
ものゝ任務は如何之を撫し之を懲し萬國民をして仁義忠孝の重すべ
く人道の尊むべきを知らしむるは今日の要務にして吾國民の宜しく
任すべき所ならずやこれ皇祖に對し嚮すべきの至誠ならずやこれ生
の夙夜忘るゝあたはざる所のものなり今この祝筵に臨みこれを以て
祝詞に換ゆ若夫れ今日の祝すべく慶すべきは寸毫のつくすところ
おらず富岳高く聳へ琵琶湖廣く湛ゆ國基と共に千秋萬歳あるべきなり

●上巳を祝す文

桃花微に紅に芳草正に翠なり艷陽の光景假令佳節にあらざるも樂む
べきを覺ゆ況んや和漢此日をトし祓除の日とし白を浮べ青を踏み雅
遊の故事詩歌に徴すべし其雛人形の俗に至りては由來更に美なり往

昔豐聰の皇子之を用て男女の別を正し内外の儀を教へ幼童の遊びと
なすと爾來今日にいたる雛棚の華麗愈々加はり美妙風流の趣致愈々
多きを見る我美術の國豈にこの美俗を廢すべけんや因て某作の五人
囃子令嬢の座右に呈す棚下に列さるゝを得ば光榮之にすぎす亦我美
俗を永傳するの卑意にすぎず再拜

●神武天皇祭々典執行の文

神日本盤余彦天皇神武明達を以て西州に勃興し躬親ら征伐の艱苦を
嘗め醜類を殲滅し群兇を掃蕩し都を中州に定め黎元を撫育し丕業を
恢廓し以て萬世の鴻基を開きたまひ皇統連綿今に益々盛んなり之が
遺徳を思へば畝傍の高きよりも高し誰か瞻仰せざらんや今茲又例に
依り某氏の別邸に於て宮司某氏を迎へ遙拜の典を擧げ神酒を享け奉
らんとす願くは萬障を排して参式おらん事を請ふ

●端午を祝する文

○上巳を祝する文 ○神武天皇祭々典執行の文 ○端午を祝する文

古節供の喜ぶべきもの一にして足らず而して男兒の嬉遊に入るは端午にしくものなし旗幟鯉魚何の壯觀にして快絶なるや必らずしも見嬉をもつて排斥すべきにあらず少年の志氣を鼓舞するに於て頗る妙なるを覺ゆ聞く貴下の令兒恰も初の節供にあたるも武者人形一匣京都名匠の作なりと稱す謹んで左右に呈す一笑を博さば幸甚再拜

●七夕の節句を執行する文

上巳端午重陽の三節句は今に喜ばれて七夕の節句は願みるもの漸く妙なし牽牛織女は將に人間の無情あるを恨むべき乎此節句の如き文雅風流の美俗なるはなし因て聊か舊式を改め更にこの夕をもつて同好の士女を會し詩歌俳諧の會を催ふし之を色紙に書し一夕の觀をつくさんとす請ふ貴臨を賜へ

●重陽を祝する文

費長房其弟子桓景に教へ茱酒を携へ高きに登り以て災孽を避けしむ

仙家の術何ぞ雅致なるこれ重陽登高の故事なりといへり僕の屋后頃日庭園を修し盈池を穿ち假山を築けり三逕の間菊花まさに開く黃白鮮彩葉綠また絶佳なるを自負す時恰も古重陽に逢ひまた風雨の興を破るなし小筵を設けて假山に登り聊か登高の典に倣ひ菊花々前一醉を謀らんとす閑あらば來り共に浮生半日開口一笑せざる

●天長節祝辭

今朝正は天長の令節に屬す臣庶たるもの曷ぞ一言以て祝せざらんや恭く惟みるに今上皇帝陛下國家多難九重宵旰の際に當て聖誕ましく天資英明王綱の振はざるを憤らせたまひ遂に六師を起し一鼓して大政を挽回し以て國威を皇張し黔庶をして昇平の恩波に浴せしむ況んや絶代の良圖を垂れ立憲の政を定めたまひて蒼生らの恩露に潤ふ於戲盛なるかな此の日や天朗は氣晴れ國旗翻々として旭紅に輝き祝嘏轟々として海岳に震ひ驩呼の聲洋洋として四海に溢る或は高懸

○七夕の節句を執行する文○重陽を祝する文○天長節祝辭

を張り或は小筵を開く威な欣々の意にあらざるはなし余輩また謹んで
聖影を拜し奉り祝盃を擧げ洪徳を頌し奉り鳳算の無究を祈り奉
る

●新嘗祭祝辭

我皇國八束穗の嘉禾を以て萬邦に超絶す故に瑞穂の國の名あり今茲
百穀新に豐熟するを奏す是に於て辱くも 聖上躬親ら天神地祇を祀
り以て委し以て侑し以て雨露の神澤を謝し奉り 聖上も亦親しく之
を嘗て以て百禾の蕃穰を祝し玉ふ之れ新嘗祭の興る所以なり敬みて
惟みるに百穀は衆黎の藉りて以て生命を維保する所なり而して東僻
西陲を問はず到る處能く芳芬として百禾の茂生するは未だ他邦に於
て其比を見ず實に瑞穂の邦號虚しからざるなり我村本年收納平年に
倍蕪す有志相謀りてこの靈辰に逢ひ初穂と酒とを供へ神事を修すま
た上の喜ぶところに做ふものなり聊か鼻言を陳じ祝詞とす

●冬至祝筵を開く文

一陽暗に動き空線日に添ふ奚ぞ此良辰を祝せざらんや因て非謙を催
ふし二三の快友と觥酌を交へ席上の一興若くは詩歌若くは書畫各々
適を適として南至の賀を申んと欲す友人某等既に來りて座に在り詞
契事務の控惚を闊し特に光賁を屈せよ惠然蚤臨せば幸甚茲に延頸以
て待つ勿演

●忘年会祝詞

年華返らず人生は白駒の隙をすぐるが如しと果して然り一年の光景
夢の如く既に歳除に迫る願ふに一年の間世態は起伏萬狀なりと雖も
幸ひに我家及び我親戚朋友恙なく此年を送りしもの豈歡喜せざらん
や例に因て茲に忘年の佳會を開き勞を忘れ歡を罄す一言の歡意を表
するなかるべけんや願くは舊を送り更に新を迎へ歡意益々多々なら
ん事を

●新婚祝辭

其年某月某日友人某君某子と山海の盟成りて婚姻の式を擧げらるに
 ふに婚姻なるもの人生一代の重事なり一家齊ひ一國治るの要の實
 に茲に存す何ぞ知らんや世の輕薄の徒は朝に結び夕に分れ離合常な
 く殆んど路旁來往の間相逢相別るの人に異ならず是豈人生の本意な
 らんやまた國家の福祉にあらざるなり君の如き媒灼その人を得て合
 登亦其式にかなへり共結絲蘿山海固永諧琴瑟地天長といへるもの應
 に君が室家にあるべきなり僕豈高砂の謠曲をうたひ關雎の雅章を咏
 じ祝盃をうけざらんや室家和諧子孫多祥なる豫むめ又祝すべきなり
 謹言

●妊娠を祝する文

承る令室已に着帯の式を擧げらると慶事何物か之にすぎんや抑も教
 育の最先は胎教にありといふ願くは自重自愛あらん事を母親のつと

め二卷座下に呈す祝意を表し併せて加護を望むの真意に出るのみ再
 拜

●生子を賀する文

貴書飛來し瑞色繽紛たり未だ絨を破らざるに必ず喜事の報なるを知
 る通讀一過果して期する所の如し掌珠榮饒の喜津々筆墨の外にあふ
 る慶賀々々他年或は荀氏の龍となり或は薛家の鳳となるは豫むめ卜
 すべきなり聊か祝意を表さんと欲し粗品を贈進す伏て笑留を請ふ

●生女を賀する文

夢月懐に入り令閨弄瓦の喜報に接す慶賀何にか比すべきや古來閨秀
 の名をなすもの多くして今世更に女子の教育發達し頻々として女流
 の名あるもの輩出す他日かならず賢女となり才女となりて世に顯は
 れたまわらん事期すべきなり縮緬一反聊か祝意を表す時下令閨令兒
 共に保全あらん事を望む

○新婚祝辭○妊娠を祝する文○生子を賀する文○生女を賀する文

● 生孫を賀する文

承はる令婦今兒を擧させたまひしと貴老の喜色想ふべきなり古者長孫始て生れ未だ曾て笑ざる人微に顔を開き曰く善し之を視んといへりと孫を得るの喜びは兒を得るにまされる古今情同じ貴老の喜若干そや必らず尊祖の遺烈をうけ家聲を顯揚したまはん事期すべし羽二重一匹進呈して聊か祝意を表す謹言

● 幼稚園に入るを賀する文

令兒今回幼稚園に入學あるばさる樹木の生育は専らその嫩芽に於て手をつくすに在り況んや少年幼兒か養育の緊要なる喋々を待たず他年の大成期すべきなり文具一揃皮靴一箇聊か祝意を表し進呈す再拜

● 小學校入學を祝する文

賢兒學年に達され明日を以て某小學校へ入學あるばさるよ一某校の聲名高くして教訓の懇切なるは夙に衆口の賞揚するところ賢兒の

聰明をまつてこゝに入學あらば智徳の發達は豫じめトすべきなり然かれども修學の素は一に家庭にありと聞く申すまでもなく貴家が忠孝の庭訓は其品性をたかめ大名を顯すにいたるへし豚兒の如きも幸ひに御同學兒猶一層學業研磨の榮を賜はらん事を石磬一枚筆一袋を呈す祝意の印として受納賜はらば幸甚

● 中學校入學を祝する文

令息小學校を卒へられ更に中學校へ入られたる旨學力拔群にして進歩の速かなる實に驚歎に堪へざる所なり然しかがら過度の勉強或は健康を害するの虞あきにあらず因て擊劍道具一揃進呈す時に修武と養力との修練を請ふの婆心のみ再拜

● 高等中學校入學を祝する文

御二男様今回高等中學校へ入學さるゝため上京おそばさるゝよし貴家の諸令兒が才學の卓絶なる御長男已に大學に在りて御二男また高等

○生孫を買する文○幼稚園に入るを賀する文○小學校入學を祝する文
○中學校入學を祝する文○高等中學校入學を祝する文

中學に入學する何等の美事實に欣仰に堪へざるなり聊か祝意を表す
るため人名辭書一卷進呈仕候後來御大成の後は又後の人名字書中の
際たるは豫め期すへきなり謹言

●大學卒業を祝す文

御長男多年螢雪の學成りて今回大學御卒業の上學士の榮位に就れし
由誠に慶賀の至りに不堪なり實に本村の人物にして學位の榮を擔へ
るは令息をもつて魁となす只た貴家の榮のみならず亦本村の榮なり
聊か祝意を表して應舉鯉魚圖一幅を呈す笑留を賜はらん事を望む

●家督相續を祝す文

令息愈々御家賢を續がれ且つ御當主の通稱に御改名も濟みたる由慶
賀何ものか之に若んや貴家の如き一村の舊家として已に九代の久し
き經て家道愈々賑盛なるもの言の祝賀すべきものなし弊家の如き只
たろの餘慶に浴さん事を切望するのみ粗酒一樽祝儀の印とあす叱留

を賜はば榮なり再拜

●隱居を祝す文

人間の樂事は少壯に於て勤め老後に至り悠々閑福を占るにありと平
生存じをり候處尊老御夫婦の如き眞に此意に協ひ愈々今回家督御夫
婦に譲られ兼々御造營の某所別墅へ御退隱のよし書畫茶俳風月花鳥
御清福の狀は實に欽仰の至りに不堪候斯てこそ實に人事をつくされ
しものぞ存じ候不日參堂高風に接し緩々相叙し申すへきなり不取敢
祝辭を呈する如此匆々不一

●歸朝を祝する文

某月某日歸朝あるはされし旨の電報に接し余等欣喜極めて踊躍する
にいたれり足下が才と學をもつて更に海外に遊學するもの多年英
獨の大學を卒へ更に佛埃伊の諸國を實歴し歸路米國を歴て歸朝する
に於ては博學宏識目を刮すへきや必せり吾國の現況たる泰西の風

○大學卒業を祝す文○家督相續を祝す文○隱居を祝する文○歸朝を祝する文

俗よ心辭して一も二もなく之に尊崇するにあらざれば只た舊弊古習を頑守し進取の精神なき兩極端に走れり知らず足下の高見必らず經倫の今日に切なる策あるべきなり大に卓見を舒べて願くは國民の蒙を開かんことを望む本村の有志等相會してまた足下が榮名を表彰せんとし別に祝辭と祝品とを備へり他日隙をもつて一たひ歸村し某水某山郷侶を會し高見を垂示あらん事を期望するのみ

●衆議院議員の當撰を祝す文

拜啓貴所今般衆議院議員に當撰の榮と得たまひし旨何等の榮事そ何等の快事そ今回の撰擧たる解散の后に出で諸政黨の競争一層激甚を極め中原の鹿は誰が手に落つるかは殆んど預想だに及ばざるどころ貴所の如き自由黨と改進黨の中間に立る獨立不偏の政見を持し遂に多數を制し衆望の歸するところ貴所の全勝に至りしは實に蔭ながら愉快に存じ候これ貴所の聲望によると雖も抑もまた撰擧民が政見の

卓絶なるを覗ふに足る願くは國家のため自重し益々盡力あらん事を聊か祝意を表する如斯謹言

●多額納稅者の貴族院議員に當撰を祝する文

貴下今回本縣下多額納稅者互撰會の投票高點を占め貴族院議員御當撰の高榮を得られたる旨恐賀に堪へず候抑貴族院は天皇の御諮詢に對へ帝國立法府の最上に位するところにしてこれが議員たる事は臣民無限の光榮とす貴下今此選を得てこの榮を擔へるは慶福若干そや貴所の面目のみならず實に貴家が未代に至るまでの光榮に存じ候仰の餘り祝詞を呈し候恐惶謹言

●任官を祝す文

貴下今回登用試験に及第し某省に就官さるゝ榮を得たまへると聞く諒に欣賀すべきなりこれ全く多年螢雪の苦學今日にして其効の顯る

○衆議院議員の當撰を祝す文 ○多額納稅者の貴族院議員に當撰を祝する文 二一

ものなりと雖も貴所素より博學俊才出藍の譽あり是れ則ち鳳翎を
寄べたる、所以なり仰き望むらくは所任に背かす政務の績を效さる
可く姑く非儀を具へて拜官を賀す請ふ收納せよ

●辯護士試験及第を祝す文

貴所愈々今回の辯護士試験に及第なりて辯護士の榮稱を擔ひたまへ
るは欽賀するに餘りなりといふべし貴所か斯學に志してより己に幾
年而して試験に臨み意を得ざるものまた己に三回にして猶其志を灰
にせず益々奮勵し切瑛し遂に上第されしは貴所の精神の堅忍不拔な
るを知るに足れり真に精神一到何事か成るざらんやの概なり愉快
に存し上候將來の隆盛亦又推想に餘りあり祝酒一樽不取敢賀意を表
す再拜、

●致仕の人を賀する文

傳に曰く功成り名遂げ身退くは天の道なりと讀書の人誰か之を知ら

ざらんや而して彼の急流勇退以て其身を全ふする能はざるは他なし
富貴に熟中するがゆへなり聞く君儼然職を辭すと何ぞ其覺悟の勇達
なるや敢て輕腆を願みず細鱗を呈す却けられざれば幸甚余は晉接を
期し以て積年の幽思を語らんと欲するのみ再拜

●縣會議員の當撰を祝す文

和氏の璞玉工の鑿に遇ひ明臺今回縣會議員當選の榮を擔ひたまへり
と慶賀々々嘗て聞く閩郡君の風采を景慕する事斯に久し君多年螢雪
の効勞爰に顯はれ伏櫪の驥足を展へ經世の才力を實踐に施すへき時
機の至れるなり豈國家の爲に敬賀せざらんや聊か拊枕を表せん爲不
腆と省みず丹釀一楹申儀として貴厨に呈す此存却けすんば榮幸餘は
萬緒拜姿の期に讓る草陳

●庭園の落成を祝する文

築庭植樹の法たる日本固有の美術とも稱すべきやに傳聞せしが近時

○辯護士試験及第を祝す文○致仕の人を賀する文○縣會議員の當撰を祝す文 三三

新たに庭園を築くものを見るに支那風又は西洋風に擬し純粹日本の築庭法に従ふものを聞くなし貴翁の好事なる茶家と藥師家とに謀りて假山盆地配石植樹すべて日本古風の築庭法によりて結構され歳を閱する二歳餘にして今茲に落成の祝宴を其園に張らるゝもの豈人生の一樂事にあらずや朝暮の眺矚春秋の光景眞に羨むべきなり主人の日にこゝに起臥して思ひを詩歌に馳す其高雅飄逸なる眞に神仙の如きを覺ゆ余輩壯宴の末に列し又朝夕此園に遊ぶもの亦又人生の一幸にして君の餘光なりといふべきかな

●茶席落成を祝す文

兼てより佗をつくし、御好みの御茶室御出來のよし幽玄さぞと思いやられ申候さて何かと存じ候得共御一築を博すへきもの之無この一幅は先頃貴覽に供し大分御賞美にあづかりしやに存じ候まゝわざと御祝ひの印にまで進呈仕候御笑留可被下候は、慶幸に御座候敬具

●新居祝宴の祝辭

衣食住の三者は人間が人間として此世に生存する限りは一として欠くべからざるものなりされば此三者の適不適良不良を究め之を實際に行ひ以て其生を全ふせざるべからず於是乎衛生の學起り衣は寒暑を防ぎ食は饑渴を支ゆるを以て足れりすと雖も必ずや衛生の理に従はざれば遂に疾病を醸すに至るされば住に於ても亦然り家は雨露を凌ぐを以て足れりすと雖も亦其位置方角及ひ建築の法宜しきを得されば又之より蒙むる危険甚だ大なりと云ふべし疇昔の人方位を説く故なきにあらざるなり彼の方位に於て説く處の位置方角の如き土地の乾濕空氣の流通光線の具合を説くに外ならざるなり以て方今の建築の理衛生の説に符合する處大なるを知るべし實に身體の健全を計るは尤も居室に關すこれ古今一轍の理にして動すべからざるものたりこゝに某氏特に爽塏の地を卜し新閣落成し其結構頗る輪奐を

極め空氣の流通に宜しく光線の具合度も適し加ふるに緑樹傑閣を擁して華標四時の眺望を縦にす臆晨に新鮮の氣に浴し夕に花月の樂を占ひ人身の攝養是に過ぐる者なし豈欽賀せざらんや不肖某又此祝宴の末席を汚すを得るの榮を得たれば聊か拙文を草してこゝに慶儀の意を表す

●古稀賀筵の祝辭

人生七十古來稀と然れども若し夫れ徒に老ひて人生に益なくんば何の賀するに足らんや貴大人の如き身貧困より起り刻苦勉勵して遂に一村の長者となる其一家の福祉を増すのみならず國家の公事に任じて亦た功績の盛んなるあり斯の如くして老ゆ眞に人生稀に見るところの一なり世の考ひて六十七に至るもの往々耄して身體自由ならず精神亦た衰耗す無用の長物視せられざるは尠なり貴大人の如き身體嬰鏢所謂老て益々壯なるものは是亦眞に人生稀に見るところの二なり

り或は老ひて貧なるあり老て子なきあり共に慶賀するに足らず貴大人の如き老て益々清福を占め令兒英才令女貞淑已に令孫令曾孫の膝下に團樂するあり是亦眞に古來稀に見るところの三なり凡る此三者人生の稀に見るところ翁は之を兼併す余輩何の辭を以て祝すべきかを知らず況んや詩歌文章の金玉を綴れるもの衰然冊をなせり卑才亦何をか云んや聊か所思を陳して祝詞とす

●銀婚式祝詞

室家相和し琴瑟永く諧ふ人生の一樂事なり夫婦婚嫁の夜誰か之を願はざらんや然れども人生の缺陷多き月の盈虧あるに異ならずよく偕老の樂を占むるものは眞に幾何ありや故に泰西の俗結婚五年にいたるを錫婚賀といひ十年にいたりたるを木婚賀といひ十五年にいたるを水晶婚賀といひ二十年を磁器婚賀といひ二十五年は銀婚賀といひ五十年を金婚賀といひ六十年を金剛石婚賀といひ夫婦共に恙なくし

○古稀賀筵の祝辭○銀婚式祝辭

て此家福を占むるを祝し祝筵を張り知己知友はその婚期に命名した
 るところの材をもつて佳贈とし相祝するの風ありと一美俗といふべ
 きかなゆへに吾帝室に於ても明治二十七年三月兩陛下二十五年婚期
 に際したまへるはもつてこの祝式を擧げさせ給へりこれ新たに我國
 に於てこの美俗を開きたまへるもの臣民の之に倣ふ必らずしも僭越
 にあらざるべきなり某君并に令夫人は本月本日亦婚期二十五年に當
 るを以て親戚朋友に會してこの祝筵を擧行する余もまた席末に陪す
 の榮を得たり知らざるものは之をもつて皆な何の意に出づるやを怪
 しむものあり故に敢て贅言を陳して祝詞に換ふ若し夫れ室家の樂事
 は邦國の基たるを知らば吾人宜しく室家の美風を養成するは亦た我
 ケ文化に一補益をなすものなり貴家彌榮之に榮えて貴夫婦の千秋萬
 歳なるへきとの衷心より祈望する所なり

● 郷友會祝詞

胡馬北風に嘶き越鳥南枝を慕ふ人豈郷と思ひざるものあらんや其郷
 を思ふの情たる音に某山某水の懷に往來するのゆへにあらん茅屋竹
 籬の情に悵觸するのみにあらん實に竹馬の友を懷ふの深きにあらざ
 るはなし屋梁の殘月恍として故人來るかと思ひ舊雨停雲常に相思は
 ずんばあらざるなり同郷の諸君亦た茲に情を同ふしてこの良夜を卜
 し在京の郷侶相會して親睦の會を開く僕不敏をもつて其幹事に推さ
 る幹旋の勞辭たるどころにあらざるも不才整理を完ふする能はず恐
 くは貴意に充ざるものあらん只夫れ故舊の誼幸ひに其足らざるを怨
 せよ一堂の中郷語をもつて郷景を話す歡意之に過ぐるはなし願くは
 秉燭燭膝飽まで平生の懷思を悉されん事を

● 病院開院式祝詞

維年何年何月何日某病院新築成り茲に開院の式を行はる華斐雲を凌
 いで聳へ粉壁日に映じて輝き輪奐の美にして結構の壯なる實に本村

に於て稀に見るところなり之を聞く其外觀の壯麗のみならず其地位
 其構造深く泰西の新式に倣ひ尤も病軀保養に可なるの法を撰めりと
 光線空氣用水の撰亦至善なるものを撰めりと某君が多年の經驗と學
 識とをもつて更にこの病院病室の至良なるものを具す走獸にして羽
 翼を得たるに比しからん乎是より遠く都會に醫に就くの煩なくして
 直ちに此院に入るを得るは本村の幸たる亦た多し亦是渡りに船を得
 たるが如きなり開院式の末に陪し喜んで祝詞一篇を呈す

● 施療院開院式祝詞

久しく聞く醫は仁術なりと然れども近時醫の人に對する商賈の價を
 論ずるが如し若し夫れ錢なくんば一疹だに受くるを得ず是に於て乎
 究巷の民は病に染みて治するを得ず貧且病み病み益々貧に迫るもの
 幾百なるを知らず豈憐むへきの極ならずや茲に慈善の有志相謀り施
 療院を建て此究苦の民を救はんとす實に昇平の美舉なりといふべし

願は此舉の久しきに耐へ益々擴張して廣く貧民の其惠に浴さん事を

● 擊劍柔術道場開場式祝辭

擊劍柔術なるものは吾國固有の妙術なりしかるに武門亡び刀劍地を
 掃ふにいたりて人の此術を修するものなく甚しきは之を賤み野蠻の
 遺俗の如くするものあり思はざるの甚しきものなり今の所謂文明な
 るものは果して腕力の頼むに足らざる乎果して武力の頼むに足らざ
 る乎器械いかに精銳なるも音器械のみに頼るへからず時に劍を擊
 ち力を角す亦又人生に必要とするところあり況んや武技を修するは
 身軀の剛壯にし志氣を振作す所謂健全の精神は健全の身軀に伴ふも
 の我日本魂を振作せんとせば此日本固有の武技を修するに若くはな
 し近時青年漸く身柔弱になれば精神亦振はず輕薄軟弱女子に異なら
 ざるもの多し同志之を歎き茲に某先生を招聘し擊劍柔術の道場を開
 き樽酒を開き醵を割き聊か開場の典を擧ぐ思ふ何れの世にか文獨り

勝ちて武を願ひみざるを以て盛世とする時あらんや文武は兩翼の如し其一を缺くべからざるなり一國之を具備すれば一國振ひ一身之を具有すれば一身振ふ真成の文明の士たるべきものは文武兼備智勇兩全のものたらざるべからず今やこの開場に臨む吟聲高朗劍舞颯爽頗る人意を壯にするものあり余亦た譎劣を願ひず一篇の祝詞を陳ぶ感奮の餘りに發するのみ

●禁酒會發會式祝詞

饑狄酒を造る再飲みて之を旨しとし後世之を以て國を亡はすものあらんといひ之を絶てり再は聖人なり猶斯の如し故に古來聖賢酒を禁ずるもの亦多し禪家の門外石に刻し葦酒の山門に入るべからざるを記す亦た其修徳に害するを以てのゆへにあらざるや禁酒の益たる多し一は身體に益あり二は精神を亂さず三は財を失はずしかるに世の人往々交際に益あるを以て酒徳とす酒を借りて交りを論ず豈眞の交り

ならんや或は快樂をもつて酒徳とす酒の快樂なるものは眞の快樂にあらすただ一時の慾を満すにすぎざるのみ酒の爭論鬭争を起し不幸災害を生す社交に益なくして而して人生に害ありこれ古哲君子の酒害を説く所以なり或は曰く酒は百薬の長なりと然り酒は薬用となすべきものあり然れども若し夫れ病なきに徒らに薬を用ゆるあらば人誰か之を笑さらんや酒若し薬たらば只だ病時醫の勸むるところに従て用ふべきなり今や某君卒先して禁酒會なるものを起す一村の青年志しあるもの之に加盟するもの數十名こゝに發會式を擧ぐ僕亦夙に此舉を賛するもの豈欣拊して祝賀せざらんや今より本村の風俗益々改良し事に勉め財を積み而して人々自ら衛生の本意に協ふものあらばこれ此會の力によるといはざるべからず請ふ奮つて之に従ひます

●職業學校開校式祝辭

○禁酒會發會式祝詞 ○職業學校開校式祝辭

維年何月何日職業學校成りて其開校式を行ふ其旨たる専ら男女年少をして實業に就かしむるの歩を開き併せて職業の進歩を謀らんとするにあり凡る我職工たるものは概ね無學無文にして只た舊俗に慣れ舊格を摸するに過ぎざれば其幾年を経るも意匠に新奇なるものなく製作に別機軸を出すものなく陳々腐々毫も世態の開明に伴へるものあるを見ず是れを改良せんとするには新智識新教育ある子弟をして従事せしむるの善きはなし然れども我國古來職業なるものを賤視し士の學問あるものは之に従事するを耻づるの風あり斯くて今日に至るも子弟徒らに空文浮辭を喜び毫も世の益にならず併せて身の産を立つるにいたらず只た父兄の煩ひを來すにすぎず往時漢學は迂濶を以て世に斥けらるゝ雖も今日の學問も此微を踏ざるはなし豈慨歎の至りならずや若し夫れ予は學者なり文學者たるがゆへに衣食すべき道を知らずといはば豈痴呆の嘲を免れんや職業の賤視すべからずし

て宜しく之を神聖にし尊貴すべきは學者の任すべきところにして自助の精神は亦た國民たるものゝ國家に盡すべきの要務なり某君夙に之を慨し此子弟を驅りて職業に就かしむ一は自助の精神とを發達せしめ職業の尊むべきを知らしめ一は職業を改良して進歩の世運に伴はしめんとす一舉兩全の策其國家の鴻益たる若何ぞや某君が實踐を以て兼て歐米の職業の狀況を歴觀し來り此校を開く成功期すべきなり予式未に列する榮を得て欣抃の餘り之を祝詞とす

● 同窓會祝詞

同學校出身の學友相會して茲に同窓會を組織し同窓雨を聽き一燈書を讀みたる當時の交誼を尋ぎ更に親睦して交遊を締せんとし茲に發會の式を擧ぐ相會するもの百餘名或は時を同ふしたるもの或は級を同ふしたる者ありと雖も前後全く時を異にし名を聞て面を知らざる者ありしかも均しく屋梁の裡に棲みたるは一なり自ら他人を以て相

見るべからざる情誼あるを覺ゆ舊知新知一見皆な兄弟の如きをなす
喜ぶべきかな願くは今後年々此會を開きて益々友誼を厚ふせん事を

◎教育

●小學校開校式祝詞

維年何月何日某小學校新建功を竣へ茲に開校の典を行ふ某幸ひに其
列に與る何の幸榮か之に若かんや輒ち祝して曰く國家の治忽は民俗
の美惡の由る民俗の美惡は學校の盛衰に係る今や奎運方に旺なり國
都閭巷庠序相望み兒童走卒亦能く字を知る文物の昌なる前昔比なし
獨恐る世人察せず實を捨て華に趨り内を忽にして外に徇ひ智を恃み
て徳を顧みず流れて浮薄となり陷りて狡黠となり私利のためには國
家あるを忘るゝものあり流弊百出我忠孝の美俗を破らんと欲するに
いたる切に望む生徒たるもの實意をもつて實學を勤め心思を潜めて
新智を發し古を考へ新を知り惡を誡め善に移つり邪を防ぎて誠を存

し寧ろ質てしに文なる勿れ寧ろ野にして華なるなかれ寧ろ拙にして
巧あるなかれ寧ろ愚にして黠なるなかれ己れの能を誇るなれ人の
力を畏るゝなかれ速成を欲するなかれ小成に安んずるなかれ愛日惜
陰小心翼々志を定め精を勵ます終りを慎む始めの如く一以て才能を
磨けよ以て自立を求めよ以て大成を期せよ以て有爲の人となれ人々
是の如くして望み成らす身の立たざる者振古未た之れあらざる也こ
れ即ち 聖勅の垂示するところに協ひ國民たるもの、則るべきとこ
ろならずや暫く識規を以て祝詞に換ゆ

●開校二十年期會祝詞

某學院開校以來今茲に二十年に滿るを以て某年某月某日即ち開始の
日を卜し紀念の祝會を開かる某亦た其席未に陪するの榮を辱ふす惟
ふに我日本の文物ハ維新以來長足の進歩をなし今や駿々として歐米
文明の諸國と馳驅して世界文明の一勢力を形成せんとする状態あり

斯の如きものは上聖天子の位に在して夙に開國の國是に則り文明の
 氣運を獎勵したまへるに因ると雖も抑も亦有識先見の士が誘掖唱道
 の力亦た多きに依ずんばあらず試に今を以て二十餘年前の日本に比
 較すれば其外觀に於ての進歩したる殆んど別衣裳を着けしものゝ如
 くして其内部に於る智識に於ても亦又之に稱へり恍として夢寐の如
 く宛として隔世の如く實に日本は一更生を歴たるものといふべきな
 り是亦先進達見の士が開發せしところ吾人後進の感謝して惜く能は
 ざる所なり本校の如き此年代を經過して此年代に與へたる裨益は實
 に擧て算するに遑あらず本校輩出の人にして名聲已に隆く世の重望
 を負へるもの濟々として多し其文明の治に力あるは言を待ざるなり
 是皆本校主某先生が材を見て器をなすの識あり其涵養するところを
 以て才を養ふの宜しきを得たるものといふべし某先生の如き維新の
 前に在りて已に泰西文物の上に注目し潜思苦學而して之を世に施す

もの徳澤の深き亦余輩後進の感謝すべき所ならずや今や創立二十年
 の久しきに涉り世の校舎が一興一廢する間に在りて校運日に益々隆
 盛をきはむるもの豈淵源の深遠なるに因らざらんや僕の如き親しく
 此校に學はず先生が門下に出ずと雖も夙に先生の著書を讀み先生か
 識に服するもの此祝式に臨みて豈に一言の頌辭なかるべけんや蕪言
 只だ平生の懷ふところを陳じて祝詞とす亦先生に感謝するの臆意に
 出るのみ

● 年初開校の祝詞

奎運旺隆文學の駿々たるは蓋し庠序を興すの効なり本年本日は例に
 依りて開業の典を行ふ教官從事の者相集り各祝詞を朗讀し畢りて校
 長某學術の蘊奥を演舌し以て其昌盛を期す抑本校創築日猶淺しと雖
 ども子弟の業を琢磨する孜孜として懈らず教員の業を授くるに孳々
 として倦まず晨に晤呼を開き夕に禮節を見る實に群蒙を開き衆智を

發すると察せずして知るべきなり是れ其誘導宜きを得ると授業の嚴
正なるに憑ると雖も亦擔任有志儕の協初盡力の致す所少しとせず
豈忻歡に堪へさらんや聊か其事を記して祝詞に代ふ

●教育會開場式祝辭

當縣部内各教育に關涉するの諸君今や此堂に集合し爰に若干の題目
を把て公議を盡くし以て其の成績を收めんとを謀る殆んど一閱月是
れ蓋し該部内學歩の層一層を進むる徴候にして奎運勃興の機先と謂
はざるを得ず冀くは諸君更に底蘊を披歷し教育の事細大遺缺なく其
思を致し一言を遂げ以て能く之を實踐に證せしめ所謂邑に不學の戶
無く家に不學の人なからしむるの程度に馴致せんと予か信して疑は
ざる所なり予會尾の今日を以て傍聽の座を占むるに際し衷情感ずる
所あり敢て一辭を呈す

●女學校卒業式祝詞

均く是れ人なり然れども已に男といひ已に女といふ天の賦與するど
ころ自ら異なれば其學ぶどころ亦自ら別あくんばあらず故に女子の
教育なるものは女子をして男子の如くならしむるにあらず女子をし
て女子たらしむるを期するにあり言換れば女子の特處長處を發達せ
しめ男子の企及し得ざるどころを遂けしむるにあるなり我國女子教
育なるもの、開けしは實に近世の事にして當初往々方針を誤り徒ら
に男子の如くならしめんとするの傾向なきにあらず是れ能ふべから
ざる事にして其弊は變生男子の如く疎暴となり豪放となり女子が貞
淑の氣を破るにいたり世の父母をして轉た其學に就かしめしめしを悔
にいたり漸次之を退かし其反動は再び女子をして教育に就しむるを
不可とするにいたり某君之を慨し一方には女子教育の文化に切要
なる所以を説き一方には教育の方針を改良し家庭の教訓を以て基礎
とする所の德育を先とし女子が優美貞淑の質を破らざるを主とし其
身軀に相應したる課程を定め傍ら手工藝の女子に適へるものを撰み

○教育會開場式祝辭 ○女學校卒業式祝詞

美術音楽式禮厄厨擧て備へざるはなく以て其教育の全からんを望み有志賛助して一校を開く某女學校と稱するもの是なり茲に六年の星霜を経て第一期本科卒業生十二人を出ず卒業式の典を擧げらる其卒業試験成績表を案ずるに果して豫期に背かざるや如く良結果を見るに至れり是れ本邦女運のために大賀すべきの慶事なり願くは業を卒業し諸女流は其修めたるを活社界に應用し良女となり良妻となり良母となりて其學ぶところを世に輝されん事を若夫れ諸女流にして猶世の教育なき女子と相立ちて優るなくんば終に世を以て女子教育の益なきを唱道するの不幸を見んのみ諸子の任たる重し請ふ慎思して其學ぶところに背かず此校の光となり更に國家の榮とならん事切望に堪へざるなり聊か所懐を陳じて祝詞とす

●幼稚園の開園を祝す

今夫れ幼稚園の必要なる所以のものは幼兒に保育を施し家庭の教育を補くるにあるなり之を切言すれば則ち幼童の稟性を基本として學

校教育の階梯を得せしむるにあるなり夫の談話積み方排へ方細工畫き方書き方動へ方集會唱歌游戲實物等の保育方法は即ち幼童をして優游和樂の中に自ら其徳性を涵養し智能を開發し心身の發達を計るを目的とするにあるなり幼稚園の必要なることは之を以て亦た能く知るを得べきのみ我村の有志諸君は曩に幼稚園の必要を感じ其土木を起して爾來二ヶ月間餘今や全く土木功竣りて本日開園式を執行せらるゝに至るは余の深く喜ぶと共に之を祝せざるを得ざる所あり庶幾くは此園の面目を擧げ功績を顯すに至らんことを冀望し且つ本日

●体操運動審判會答辭

体操運動の教育上に必要なることは吾等生徒の心身を發達し智能徳性を開發養成するの基本とあるにあればなり我縣知事閣下は曩に縣下各公立學校及尋常高等小學校に訓令を發して各其生徒を召集し本

日を卜して、体操運動審判會を開かるゝは實に是れ我縣知事閣下が教育上に其心を用ひらるゝこと、の深きと、將た吾等生徒を獎勵さるゝこと、の銳意なるを視るに足れり、而して本日閣下親しく此所に臨まれ、吾等が演習せし、隊列運動中隊銃隊對騎銃隊柔軟体操等を精細に審判し、特に吾等に向ふて、篤き賞詞と、賞品とを賜はりしは、誠に吾等異數の幸福にして、吾等深く閣下の厚意を謝せざるを得ず、向後吾等尙教益々勉勵して、教育を受し功績を顯し、以て閣下が、今茲に吾等に對し、告諭せられし厚意に答へるの期あらんとす、仍て之を答辭と爲す。

● 小學校開校の祝辭

國家の盛衰は、人民の賢愚に由り、人民の賢愚は教育の良否に由る、而して教育の良否は、人民の力を教育の事に用ふるの淺深如何に由る、今や本村民諸君が、經營措畫されし所の校舍、土木工を竣へ、本日を下して開校の典を行はる、諸君の力を教育の事に用ふるの深きは、余の最も満足

する所なり、冀くは本校の職員諸子よ、此新築の校舍に據て、以て校務に精勵し、孜孜耐久の功に順ひ、生徒をして天賦の智能を發達せしめ、他日世に立ち業を營み、生活を全ふし、國民たるの義務を盡さしめんとす、事茲に至らば、本校の教育は亦た以て國家文化の基本とあるや必せり、余親しく此開校の典を擧る所に臨み、其典の盛んにして、且つ新築校舍の規模宏大なるを觀て、欣喜に堪へず、乃ち非言を述て之を祝辭とす。

● 教育博物館開館式祝辭

夫れ教育の目的は、吾人の産業を保全するにあり、而して博物館の目的は、動物植物、礦物等の標本を多く一場に網羅し、實事、實物に就き、其原質、形体名稱、功用等を知得して、以て吾人の見聞と、智能とを開發、進歩せしめ、以て益々吾人の産業を保全し、且つ幸福を増進せしめんと、欲するにあり、然らば則ち、教育博物館の世を利し、人を益すること、何ぞ多く論するを須へんや、爰に某氏等は、教育博物館設立の事を主唱し、多數の

同意者を得て、該館舎建築の工事を起されてより茲に十有二旬に渉る、
今や其工成つて、此盛んなる開館の典を行はれ、余も亦た此末席に列な
るを得たり、余豈に一言の祝辞をきを得んや、余乃ち曰く、教育博物館の
世を利し人を益することは、前既に之を言へり、而して某氏等の設立さ
れし、教育博物館の美舉なることは、亦た彼れを以て此れを推知し得べ
きのみと、仍て謹みて此開館式を祝すと云ふ、

●教育品展覽會賞狀授與式の答辭

茲に本郡に於て、教育品展覽會の開設あるや、爾來今茲に六旬餘後ち其
出品を精細に審査判別せられ、審査委員長の薦告に依り、本日を下して
郡長閣下親しく此場に臨み、賞狀授與式を行はれ、殊に賞狀受領者たる
某等に對し、厚き諭告を下さる、某等は實に郡長閣下の厚意を戴き、肝に
銘じて感嘆に堪へず、既に某等閣下の厚意を肝に銘せり、亦た以て拮据
勉勵せば、他日成業の期は、際し閣下の厚意に副ふの印契を示すを得ん

之を答辭と爲す、

●小學校開校式の答辭

今や本校新築工成るを告げ、本日を下して開校式を行はる、殊に郡長閣
下及村長貴位より懇切ある諭告を賜ふ、某等本校生徒たる者、何の光榮
か之に加へんや、按ずるに教育の良否は主として校舎の結構如何にあ
り、故に校舎の結構其宜きを得れば、則ち教育も亦た善良なるべしと、雖
も若し其れ否らざる時は、則ち教育も亦た不良なるべきは、蓋し是れ自
然の理なりとす、幸に本校新築して結構其宜きを得たり、將來本校の教
育善良なるべきは、敢て論を俟たず、某等自今本校の善良なる教育を受
ける者、能く郡長閣下及村長貴位の諭告の趣旨を服膺し、日夜勉勵怠る
ことなくして、本校を卒業し、生業に就き、國恩の万一を報ふるを得るの
日に至らば、亦た以て郡長閣下及村長貴位の厚意も報ふるを得
べきか、乃ち本校生徒總代として茲に答辭を陳上す

●音樂講習會始業式祝辭

夫れ音樂は、吾人性情の自然に出づるものにして、人心を感動し、精神を發揮するに、至大至強の勢力を有す。故に古今の聖主賢相は、音樂を以て治國の要具と爲し、匹夫匹婦も亦た尙ほ能く音樂の功に依りて、道義感情を敦厚にするに至れる例は、決して珍らしき事にあらず。亦た以て音樂の功の大なるを知るを得べし。然り而して此言樂を普通教育に必要とする所以も、蓋し亦た信實忠愛の情を養はんを欲するの意に外なし。音樂講習の事、何ぞ之を忽せにするを得んや。我輩同志相謀り、茲に音樂講習會を開き、音樂の改良進歩を計らんとするは、即ち音樂を教育に適用して、人世の利益を圖らんと欲するにあるあり。今や其開會の式を舉るに當り、其事由を記して以て之を祝辭と爲す。

●小學生徒卒業證書授與式

小學教育の趣旨は、兒童の智能を開發し、徳性を養成し、以て他日生活上

の福利を得せしむるにあり。然れども小學教育は、中學大學等の教育の階梯に過ぎざれば、小學校を卒業するも亦た中學大學等の教育を受ざる時は、完全なる學問を修めたりと言ふべからず。雖も先づ以て小學教育を受けし者は、普通人間の智能を有し、徳性を具ふ者と謂ふべきなり。諸子は、益雪勉勵の功空しからずして、今や本校を卒業し、此れより一身を修め、一家を興し、國民の義務を盡すべき責任あり。然らば則ち諸子の前途は、最も望み多くして、其任も亦た甚だ重しと言ふべし。諸子が此時に於て、須らく肝に銘すべきは、政黨競争と宗教惑信との交渉を避るにあること。是れなり。蓋し政黨競争や宗教惑信は、思慮未熟なる諸子の心性をして發達を妨ぐることも、最も太たしとす。故に諸子は、努めて政黨宗教の範圍外に立ち、徳義を尊び、名節を重んじ、忠實の心を以て、地方の利益を計り、國家に義務を盡されんこと。は、余の切に冀望する所にして、茲に於てか、本校の功用を滿場生徒諸子の父兄に知らしむるを得べく、

又本校職員諸君の常に授業監理法の宜き所あるをも亦た知らしむるを得べし、今や余は諸子に諭告する趣旨を概ね述盡したれば、茲に恭しく、天皇陛下の萬歳を祝し奉り併せて本校の隆盛と卒業生徒諸子が前途の洪福とを祈る。

●夏期講習會散會式祝辭

曩に某君等が常に職務ありて學問上の智識を得たき人々の爲めに、夏期講習會を開設せんことを主唱さるゝや、余は大に某君等の起舉の善美なるに感嘆し速に賛成の意を表したりき而して尙ほ多くの賛成者ありて遂に去月廿日より其開會の運に至り、今や全く當初豫期せし如く、一ヶ月間の會日を経過して其散會式を行ふを得るは誠には是れ余輩の慶賀する所あり、殊に夫れ此會場たる山高く水秀る所に位置す其余輩に身体の攝養を利し、修學に便宜を與ひしこと、其れ幾許ぞや、蓋し亦た其功の大あるものあるや必せり、冀くは此會をして本年の夏期一

回に止まらしめず、毎年必ず之を開會するに至らんことを聊か余の冀望と此會の來由とを述べて以て散會式の祝辭とす。

●前校長閣下の轉任を祝す

顧みれば往時、我が校の教育は頗る衰微せる状況ありしに、明治廿二年五月閣下の我校長として來任せらるゝや、我々精勵事に従ひ校務を處理さるゝと、茲に殆ど二年間、始終一日の如し、之を以て我々校教育の進歩せしと、實又著しきものあり、是れ閣下の功に職由せずんばあらざるあり、然るに今や閣下は某校に轉任の命を受け、明日を以て該校に赴かれんとす、嗚呼、閣下を敬慕し、閣下を親愛する所の某等は安んぞ追慕惜別に堪へけんや、然れども某等の閣下に對する私情は、閣下が轉任の公義を抑制し、得べきものにあらざれば、則ち區々の私情を排し、今唯だ閣下の榮轉を祝賀す、伏して望むらくは、閣下倍々健康にして多福ならんことを

●教育學講習會結了式告辭

前校長閣下の轉任を祝す 教育學講習會結了式告辭

明治何年何月何日教育學講習會終了し茲に閉會の式を擧ぐ願ふに本會は本郡教育會員の發起に係り小學校教員たるもの及小學校教員たらんと欲する者に教育の大意を講習せしめんか爲め暑中休暇に際し特に開設せしものにて某々の諸君最も奔走盡力し高等師範學校教授某君を聘して講師ともし本月何日開會爾來講習に従事すること數日其會員百二十四名に及び茲に豫期の課程を修了して本日閉會を告ぐるに至れり是れ偏に講師其人を得諄々教へて倦ざるの致す所にして其本縣教育上に裨益する亦決して尠ならずを知るなり抑も教育の要は教師をして其學力を涵養し之れを實地に活用せしむるにあり切に望むらくは將來本會の如きもの相踵て起り益々教育の改良發達を計るに至らんことを聊か一言を述べて祝辭に代へ併せて講師多日の勞を謝す

◎神社佛閣

◎某寺本堂新築落成式の祝疏

伏て惟ふに寺院の本堂は佛祖の大猷を顯揚するの道場なり道場の築造其宜きを得て以て佛祖の大猷を顯揚するを得べし今茲に某寺本堂新築落成す是に於てか近隣の僧伽及檀徒を集めて其慶賀式を修し十種の供養は総て儀軌に準じ五彩莊嚴大に舊觀を改む是れ實に我等檀徒の志力に由ると謂ふと雖も亦た現住職某氏の力を此に盡すこと多きに由らざるばならず既に此本堂の新築成れり今より後ち大猷を顯揚するに此道場に於てせば則ち庶幾くは一切の衆生に佛祖の膏澤を被むらしむることを得べきなり欽みて祝疏す

◎大藏經修藏慶賀祝疏

大藏經は如來法身の慧命あり慧命の存する所之を如來應現の地と謂ふも亦た豈に過言ならんや若し夫れ末法の今日に生れ親しく如來に接して妙法を拜聽するの思ひあるものは大藏經の指示に由らざるば

將九何にか之由らんや我檀那寺某寺住職誰氏縁を四方に募りて大藏
經一部を修藏す是れ末法の今日に於て一切衆生を親しく如來に接せ
しめ以て妙法を拜聽せしめんと欲するにあるなり何そ其舉の善美な
るや本日其慶贊式を執行するに當り不肖檀徒總代として此に祝疏す

●某神社再建竣工式祝辭

今茲に某神社再建竣工式を行ふ何ぞ之を祝せさらんや抑も某神社は
本村の鎮守にして冥々の裡に本村に加護を垂たまふこと少なしとせ
す然らば則ち本村民等の資を捐して以て社殿を再建するも亦た固よ
り常然なり乃ち一言を以て此竣工式の祝辭と爲す

●某寺住職晋山式を祝するの疏

明治何年何月何日某寺住職の晋山式を執行せらる不肖嘉悃に堪ず聊
か短疏を述ぶ其詞に云く右伏て惟ふに何誰和尚は學博く徳高く戒嚴
行淨く眞に人天の師標たるに背かず此師標にして某寺に晋山す群生

の度されて皆な法性薩婆若海に証入せんあと亦た得て之を知るべき
のみ謹みて疏す

●某神社々務所上棟式祝辭

一神社の社務を整理せんと欲せば則ち其社務を整理するに適當なる
社務所なくんばある可らず我村の某神社は從來社務所の設けなく爲
めに其不便少なからざりしが我村民は之を欠典として各自費を融し
社務所を建築することに決し本日をして其上棟式を擧ぐ蓋し今より
其全く落成するに至るも亦た敢て遠きにあらず而して其落成の後ち
社務の整理着々として其緒に就くべし之を上棟式の祝辭と爲す

●保存資金下賜法會慶贊疏

法運澆末に屬し道心滴濁となり伽藍の經營太だ易からず此時に當り
て名藍巨刹の破壊するを觀るは是れ自然の理なりと謂ふと雖も亦た
嘆惜の情なくんばあらず我香華院たる某寺は規模少と雖も文明年間

以前の建立に係る之を以て今回内務大臣より保存資金若干を下賜せらる。是れ誠に我某寺の幸福なり。今其下賜の金を佛前冥し慶賛の法會を修するに當り予は檀家一同に代り此れを疏す。

● 遙拜所新築竣工式祝辞

本日遙拜所新築竣工式を行ふ予謹みて之を祝す。按ずるに此帝國の臣民は皆な神祖の遺孫なり其神明に對し尊崇悃誠を表するの義務あること言ずして明らかなり而して尊崇悃誠を表するには遙拜所の設けなかる可らず聊か此事を述て此れを祝す。

● 説教所開場式祝辞

維時明治何年何月何日何教會所開場式を擧ぐ余は施主總代として此成儀に列す。豈に一言の祝詞奇きを得んや。願みれば法導衰頹法雨大旱佛土千里草木皆な死し四海の民生岑々として頭を痛む。此時に當り雷雨轟然として到り膏澤洋溢を爲し其枯稿を救ひ其頭痛を癒すものは

實に何説教所の設置にあらざるなきを知らんや。然らば則ち余焉んぞ之が開場式を祝せざらんや。

● 某神社鳥居新築落成式祝辞

神靈顯著なりと雖も亦た其莊嚴の飭りなくんば人々に信を起さしむるあど難きものあり。故に曰く信は莊嚴の徳より起ると而して神社の鳥居は於る亦た是れ人々に信を起さしむるの莊嚴なり。何ぞ神社に鳥居なきを得んや。我村の有志者此某神社に鳥居なきを憾み曩に醵金して鳥居新築の工事を興す。頃日漸く其落成を告げ本日を下して落成の盛典を擧ぐ。今其鳥居を視るに材料壯大にして從來に比すれば此鳥居ありて以て大に社前の威嚴を増せしもの、如し思ふに是れより神靈の益々顯著なるに至るや必せり。仍て余は氏子總代として本日之を祝す。

● 宗祖謚號法會慶賛文

維時何年何月何日、我宗祖某大師の謚號法會を執行す、惟ふに我宗祖の高徳なる、佛天を震ひ佛地を動し、其職の深きこと能く千古の智勇を推倒して、萬世に垂るゝの偉業を成就せらる我朝廷の宗祖に謚せらるゝに、某大師の號を以てせらるゝ所以は、固より偶然に非ざるなり、今茲に其謚號法會を執行するに當り、予は信者總代として、此祝辭を述べ

●入佛供養慶贊文

今茲に何觀音の入佛供養法會を行ふ抑も此尊像は、某の一刀三禮して、三星霜の永きを閱し作像したるものに係り、而して其靈驗の顯著なること誠に畏怖すべきものありと云ふ、然らば則ち此尊像の、今より諸人に福利を興ひ玉ふこと必せり慶賀に堪へず、信者一同に代りて之を祝す

◎博覽美術

●博覽會閉場式祝辭

夫れ産を殖し、業を勵まし、以て人民の福利を増進するは、博覽會を開くより善きはなし、茲に於てか、本郡博覽會を開き、郡内特有物産を一場に蒐集し、以て益々産を殖し、業を勵ますの地盤と爲さんとす、而して今本會に蒐集したる出品の數は、六千五百六十八点、出品人數は千二百八十四人の多きに達せり、亦た盛んなりと謂ふべし、將た夫れ其出品の品位に就き、一見したる所を言はば、卓絶なる美術品あり、又發明改良等に由りて、進歩の著しき品あり、又他の便益なる器具機械を適用して、模造倣作したる物ありて、悉く皆な郡内物産の精を抽き、華を萃めたるものなり、出品者は之に由て、自他の長短を考究し、優劣を参照し、以て他日の成果を期すべく、郡町村の公職に在る者は、之に由て、代議行政の方針を定め、民力を養ひ、産業を勸むるの基本を爲すことを得べし、今や其閉場式を擧るに當り、郡參事會員總代として、此祝辭を述べ

●米穀共進會閉場式祝辭

農事改良の急務なる今日に方りて米穀共進會を開くは寔に美譽なり、本郡發に米穀共進會を開きてより、此に十有五日を閱す、其間審査係員諸氏は、精密の審査を遂げ、擬賞せらるる者、數十人の多きに至る、又以て本部の農事は、前途に望を矚す所あるを見るに足れり、今閉場式を執行す、乃ち所見を陳じて之を祝すと云爾、

●美術品展覽會發會式祝辭

凡る一國文化の進歩は、美術の發達するに原由す、其然る所以は何ぞや、他なし、抑も美術は、人々の意匠を精緻し、氣韻を高雅ならしむるを目的とするに由る、今茲に美術品展覽會を開き、繪畫、彫刻、陶器、織物、拵板、漆器等を陳列して、展覽に供するは、蓋し美術の發達を計ると共に、此國文化の瞻望を高めんと欲する爲めに外ならず、此旨を以て發會式の祝詞と爲す、

◎水産

●水産品評會閉場式祝辭

夫れ我國沿海の水産に富み、而して蕃殖漁獲の術の未だ進歩せざるは、大に識者の慨難する所あり、我郡長閣下の鑿に、當業者を勸誘し、水産品評會を開かれたるも、亦た其意に外ならず、而して其會も、今や審査を終り、郡長閣下親臨し、茲に褒賞授與の典を擧らる、抑も此會品彙の多き、千を以て之を計り、審査の公平なる、精粗悉く判し、稱揚の厚き、賜寶具さに至る是に於てか、當業者の奮勵して、漁獲蕃殖の術順に進歩するに至らんとす、不肖欣喜に堪へず、當業者一同に代り、郡長閣下の厚志を感佩し、併せて恙なく、此閉場式を擧らるるを祝す、

●乾魚輸出商會始業式祝辭

我國より乾魚の支那に輸出するもの、毎年三十餘万圓の巨額に達せり、然れども多くは支那商人の我國に自ら來て仕入れ行くが故に、利益の大半は皆な彼商人に占めらる、我國人の不利益なるを推て之を知り

得べきのみ是に於てか我輩等乾魚輸出會社を設立し直輸の方法を計らんと欲し本日と以て其始業式を舉ぐ蓋し此社設立の微志に違はず我輩の期望を到達せんことば唯だ我輩の勵否如何よあらんのみ聊か不文を記して之を祝す

●牡蠣繁殖及製造法傳習會終業式祝辭

牡蠣は我海産物中に於て最も吾人の身軀を滋養するの功あるものに於て且つ海産業者に収利を多からしむる所の物とす然らば則ち之が繁殖及製造法を攻究するは我曹を利益すること疑ひを容れず此に於てか教師を聘して其傳習會を開き固形物廢場投入法稚貝附着鑿別法移植及漁獵法等を始め其製造法に至るまで悉く之を習了し今や終業式を行ふ是れ豈に我曹の職業に一大新紀元を開くの基因なりとして大に祝する所なかるべけんや

●捕鯨船進水式祝辭

本日捕鯨船の新造成るを告げ進水式を執行す惟ふに水産物中収利の多きもの捕鯨の業を措きて其れ他に何かある夫れ鯨の性質たる其肉の美膏滋味は頗る人身を營養し其齒骨筋莖血油鱈尾腸毛皮等は之を醫藥香油蠟燭及石鹼の原料極稀其他種々の原料に充て或は織物に使用し肥料に施用し巨大の全身一として棄る所なし其一尾を捕ふる亦た能く莫大の収利あるべし之を以て我村民捕鯨船を新造し捕鯨に従事して以て大に収利を期せんと欲し茲に進水式を執行す是れ豈に安んぞ祝せざるを得んや

●經節品評會閉場式祝辭

經節品評會を開きしは去る何月何日にあり爾來開會幾日にして品評査定全く結了し本日を以て其閉場式を行ふ願ふに本會に出品したる經節は皆な我近海の産出に係る試みに之を本邦第一の産地たる土佐節に比するに其脂肪分と品位とに至りては遠く及ぶ可らざるも亦た

我近海産出の鯉節は其製造邊幅を飾らず自から一種の特風を存するを見るは是れ豈に近時我曹の製造に注意して改良の効を奏したるものに非ざるなきを得んや然らば則ち我曹の製造する鯉節の土佐節を凌駕するの期は蓋し遠きに非ざるべし乃ち欣悦して本日の閉場式を祝す。

●製鹽所開業式祝辭

人間の食料中を就きて最も必須の物は鹽を惜きて他に之なかる可し鹽の人間に闕く可らざること之を以て知ることを得べし某君製鹽の事業を企て二町三反餘歩の鹽田を開闢し六個の鹽竈を築造し其準備成りて茲に開業式を擧ぐ而して其式の盛んある實に我地に未だ曾て有らざるの盛事たり蓋し是れ斯業將來の隆盛なるべき前兆か依て一言以て之を祝辭となす。

●水産物鑑詰法研究会起業式祝辭

近時水産物鑑詰の世に需用を多くせしは即ち我水産物の販路を擴むるに大なる便宜を與ふるものと謂ふべし然れども鑑詰法の至難なる養浸漬法と鑑詰の原料たる鐵葉の撰擇等の注意法とを深く研究せざる可らず是に於て我々其教師を聘し斯法の傳習を受んが爲めに這般水産物鑑詰研究会を開き本日をも以て其起業式を行ふ今より前途を按ずるに此會の我々に利益を與ふるると毫も亦た疑ふ可らず仍て此式を祝す。

●水産保護法施設式祝辭

我國は土地狭くして人口多く耕耘如何に進歩するも亦た其耕獲と人口と釣合ざるを如何せん獨り水産物に至りては我國の地位幾個の島嶼より成り海に瀕するの地延長七千餘里に及び其島嶼の散布する間岬灣凹凸する所多く最も魚類の集住に適す故に我沿海よ於て獲獲する魚介の種類多きこと殆んど六百種に上り其價格の多きこと幾んど

年に八百萬圓に上らんとす、今日にして此の如し若し夫れ斯業の發達せば水産物のみを以て毎年一千五百萬圓の収利を見るは、亦た決して難しとせず、我郡長閣下の夙に水産事業を奨励せらるゝは、余輩の感佩する所なり、而して今や又水産保護法を施設し、以て從來の漁具漁船及製造法蕃殖法等に至るまで、悉く皆な改良の模範を示し、大に水産の發達を企圖せられんとし、茲に其施設式を擧ぐる、余輩安んぞ之を抃舞せさらんや、乃ち此に非言を記して以て祝辭とす。

●漁港燈臺建設式祝辭

漁港燈臺の建設成るを告げ、今此に其式を行ふ、是れ我村民が漁業を爲すに付き、將來頗る便宜と幸福とを得るや、何ぞ言を俟たんや、抑も海潮の勢況と、時候及獲魚の如何等に由りては、晝漁便ならずして、夜漁を利とすることあり、又夜漁利ならずして、晝漁を便とすること無きに非ず、其夜漁に従事する時に當りて、船の運轉する方向の標準とす可きもの

は、此燈臺を措きて他に何か有る、然らば則ち此燈臺は將來我村民の漁業に便宜を與へ、其生命を保全するものと謂ふ可きなり、豈に其れ之を祝賀せざるを得んや、

●海面捕採場始業式祝辭

我何浦は捕漁採藻に最も適當の海面なり、之を以て某氏、擧げ、縣知事に向ふて、其所用を請願せられたるに、願意允可を得て、其所用海面を區畫し、準備悉く整頓して、茲に始業式を擧られ、不肖も亦た臨場の光榮を承く、慶賀の餘り、此祝辭を述ぶ、

●海苔製造場始業紀年式祝辭

海苔製造場始業以來、此に三年なり、而して製造の額、熾んに多く、販路の漸次に擴まる、是れ惟ふに其品位の好良にして、製造の精緻あるに由る、豈に倍々努めざる可んや、今紀年式を行ふに當りて、之を祝す、

◎農林

●土質鑑別の成功を祝するの文

非紙呈上仕り候、貴下過般御企舉被成候、土質御鑑別の儀、此程御成功、相成りし旨、傳聞致し、興御満悦の事と奉、恩察候、野生嘗て聞き及候處に依れば、凡そ農家作物するに、適當の土質は粘土と砂との比例に依るものにして、大抵粘土質は百に付き、砂石の五又は七を合むるを云ひ、十以下の粘土を合むものは砂土ありと云ふ事に、御座候、此邊を實地に土質鑑別して、作物を致せば、農家の収利は夥たしく可有之候、然れば、貴下の御企舉は、誠に善美にして、其成功は野生の大に祝賀する所に、御座候、他は拜眉方々申上べく候、略陳

●作田の災害を免かれしを祝するの文

飛白仕り候、昨日は例年の二百十日に相當り候て、殊に朝來空合も何となく、黒雲を以て蔽へしかば、定めて一ト荒れあらんか、然らんには作田も亦必ず、風雨の災害を被むることを免かれさらん、と心痛罷り在

り候處、思ひの外の静穩よて、些少の作田に災害なかりしは、御同様大に祝賀すべき事と奉、存候、草々頓首

●蝗虫撲滅を祝するの文

短書を以て申上候、承れば、何字の尊田に蝗虫相生じ、爾後其排除方に御苦慮被成居候處、數日にして、全く御撲滅被成、遂候趣き、大慶の至りに奉、存候、右祝詞申上度、此の如くに、御座候、拜白

●地租修正請願委員慰勞會祝辭

夫れ地租軽減と云ひ、地下修正と云ひ、其共に吾人農民に取り、一大利害休戚の繫る所にして、而して此二件は、現今殆んど全國の輿論なり、吾人何ぞ之を輕視することを得んや、此に於て、本村某村と共同して二件の請願を帝國議會に提出することに決し、其請願委員として、某々二君を東上せしむ、某々二君の公共心に富まるゝや、東京に着してより、日夜奔走、此事のみに従はれたるに拘らず、時機の未だ熟せざる所あるに由り

て願望を達すること能はざりしは實に吾人の遺憾とする所なり然れど某々二君の心勞を盡されたるは吾人深く之を謝せざるを得ず依て吾人相謀り二君を慰勞せんか爲めに此酒宴を開く冀くは二君幸に吾人の衷情を諒せよ按ずるに吾人の願望を達すること能はざりしも既に二君の盡力に由りて吾人の願望を達するを得るの一段階を經過せしもの無きに非ず然らば則ち此酒宴を開くに當りても唯だ二君の勞を慰むべき言のみに止めず尙ほ併せて一言の祝辭を以てするは豈に其れ適當なるに非ずや

●地押調査結了慰勞會祝辭

地押調査結了して今此に慰勞の宴を張るを得たるは寔に我輩の祝賀に堪へざる所なり惟ふに生を養ひ産を殖すは地土に本源す地租を定賦するは以て政費を救ふにあり而して田を班し制を慢り區署平かならず租稅度に乖き輕重節なければ生民産に苦しみ爭亂相踵ん地押調

查の事何ぞ之を經視するを得んや今や我輩の從事せし地押調査は尙來如何の成果を見るや否やは之を豫知す可らずと雖も亦た幾分か生民に資益なくんばあらず聊か鄙見を述べて以て之を祝辭に代ふ

●小作種類調査結了式祝辭

吾等地主近來時勢の必要に迫り小作種類調査會を開き爾后其調査に従事せしが漸く調査整頓して茲に結了式を擧るを得るは予のただ喜悅する所なり蓋し吾等の調査したる小作種類は直名田請負年期前入作株又卸内永家守敷金散掛別又通常刈別等の十八種にして三府廿四縣の小作名稱種類方法なり若し夫れ此調査を参考して其善なるものを選び出して以て吾等の利用するものとあらば則ち其利益あること敢て之を疑ふに足らざるなり乃ち此に結了式を擧るに遇ふ何ぞ之を祝せずして可ならんや

●林木共進會開場式告辭

小作種類調査結了式祝辭 林木共進會開場式祝辭

夫の鬱々たる茂林蒼々たる深樹大なるものは棟梁の材に供すべく小なるものは薪炭の用に充つべし且つ夫れ流水空気の源氣候寒暖の序皆亦山林に因由す亦た以て山林の吾人生活に必要なものなることを知るに足るべし然るに近時林制弛類し養林の法稍亂る我輩大に之を歎き曩に百方計畫して林木共進會を開きたるに其出品の數の夥しきこと無慮七百八十九種に達し其開場日數二十日間にして視覽人の數は千九百六十四人の多きに至れり何ぞ其れ盛會あるや夫れ此の如く盛會なりし所以のものは亦た以て此會開設の時機に能く投合したるを將た山林の吾人生活に重要な關係を有するに惟れ由らすんばあらざるなり庶幾くは此會開設の旨趣を他年に繼續し其成績を永く我輩に垂んことを本日閉會式を告るに當りて特に出品者諸子に諭告し併せて平和に閉會式を行ふを得たることを祝す

●家蓄組合の成立式を祝す

農家毎戸に雞を飼ひ豚を飼ふは最も利益あるものにして世上何れの農家と雖も必ず落糞又は野菜の截片あらざるはなく加るに宅地耕地等には水あり虫あるを以て雞の餌となり豚の食とあるべきもの充分に存在せり故に之を飼養し之を繁殖して以て其肉を賣り卵を賣り羽毛皮糞等を賣らば農家の利益あること誠に其多きを知るべし曩に本郡長閣下は某等を獎勵して家畜組合を組織せしめ本日其成立式を擧るに至る今より某等が此組合方法に據りて始めて家畜飼養法の改良進歩を計るを得べきか事茲に至りて能く郡長閣下が獎勵の厚意に副ふものと謂ふべきなり乃ち此成立式を祝す

●開墾竣功式祝辭

寒草蔓延茫茫として際涯なき荒蕪無産の境を開拓して美産良殖の地と爲し以て衆民の生活を資け國家の當強を計るは開墾事業なり墾墾事業の成績の大なること亦た知るべきなり某君等深く茲に見る所

ありて某地開墾の事に従はるゝこと數年今や全く竣功して其式を此所に擧げらる是れ誠に稱賛すべき美事なり依りて此開墾竣功式を祝す

● 蠶業組合の結成式祝辭

蠶業は我國富強の基なれば斯業の盛衰は即ち我國の興廢に關せり吾等蠶業を經營する者安ぞ斯業の盛大を計らざるを得んや而して蠶業の盛大を期せんと欲せば當業者の組合を設け桑樹の培養萌芽の發生桑葉の摘採蠶兒の飼養眠簇掃立期の早遲氣候寒暖の如何収獲の多寡等を攻究し以て之を實地に施用して利益を増進せざる可らず然らば則ち蠶業組合の設けなかる可んや吾等蠶業組合を結成し此に其式を行ふ今より後ち斯業の盛大を計むの基たるを庶幾し以て此に祝す

● 獸醫の開業を祝するの文

凡そ家畜の疾病創傷潰瘍を治療するは獸醫の提斯する所にして而し

て其中に就き農用牛馬の疾病を療治し及蹄剪刺絡灸治等の術を施すは必ず之を獸醫に囑托せざるを得ず獸醫の農家に必要あること亦た以て知るを得べし某君は東京に於て數年獸醫術を攻究し學業成りて歸郷し茲に其醫業を開かる我村農家の便利を得るに至らんこと期して俟つべきなり欽みて之を祝詞とす

● 共有貯蓄會創立式祝辭

平時に於て凶歉救濟の準備を爲さんと欲せば常に勤儉を以て収入を増益し節約を以て冗費を減省し其餘財を蓄貯し以て不時の災厄に供し一家安全の基を開くにあり我村の有志者茲に見る所ありて互に米麥を醸出し之を倉庫に貯蓄し所謂凶歉救濟の準備を爲さんと欲し今其共有貯蓄會の創立式を擧ぐ是れより後ち不時の厄災に遇ふも又た我等の生活は安全あらんか豈に安ぞ一言の祝言あきを得んや

● 改良作米試驗成績會結了祝辭

共有貯蓄會創立式祝辭

改良作米試驗成績會結了祝辭

改良作米試験成績會此に結了を告ぐ、何ぞ一言の祝辭なきを得んや抑も我國に於て米作を改良するの利益は、實に其収量の多きのみならず、耕作費も舊慣作よりは大に減するものあり、舊慣作は一反歩に付き、種子六舛、或は九舛を要すれども、改良作は四舛五合を以て足れり、是れ苗代田に彼れは厚蒔を爲し、此れは薄蒔を爲すに由る、而して舊慣作の除草は、三回よして、一人の除草は四五畝に過ぎされども、改良作の除草は、一爪器械を用ふるが故に、一人にて一反歩を除草し得られ、収量に至りては、殆んど五割内外の増殖を見るなり、果して此の如くんば、則ち米作改良の利益あること、何ぞ之を疑はんや、本日改良作米試験成績結了を告ぐ、乃ち此言を以て祝辭に充つ

●種畜交換會始業式祝辭

夫れ種畜交換の必要あるは、牧畜及農産事業に、最も緊要の事と謂ふべし、我輩同志此に見る所ありて、種畜交換會を開き、今其式を擧ぐ、是れよ

り互に種畜を交換し、其交尾飼養に宜きを得ば、則ち善良なる牛馬羊豚、雞類を繁殖し、以て各自の幸福を増進し、以て國家の利益を發達するものとを得べし、聊か所見を披きて之を祝す

●某小林區署開廳式祝辭

維時何年何月何日、某小林區署の開廳式を執行せらる、惟ふに今より何山の森林施業、其緒に就き、栽培其宜しきを得るに至るや、必せり、豈に安んぞ、此開廳式を祝せざるを得んや

●製茶品評會閉場式の答辭

本日製茶品評會の閉場式を擧るゝに當り、郡長閣下より懇諭を賜ふ、余一言の答辭なきを得んや、惟ふに製茶の優劣を審査し、品騰考數公平に擬賞せらるゝは、製茶業者を奨勵し、製茶の精良に赴く所以あり、即ち之を答辭とす

●耕耘會褒賞授與式告辭

耕耘會の審査已に畢るを以て茲に褒賞授與の式を擧ぐ抑も本會は耕耘の技能を審査し耕牛馬の良否を比較して之れが改良進歩を圖るを以て主眼とす故に其賞に與かりたる者は益奮て今日の榮譽を保たんことを勉め其賞を得ざる者も亦愈勵んで進歩の功を後會に效すべし然らば則ち此會の農事に補益ある蓋し鮮少ならざるべし

●開村式祝辭

夫れ興産の途多端なりと雖も不毛の地を拓き農産を盛にするを以て基とす我何山の東東海の濱原野廣曠棄地遺利の大なる古來有志者の慨歎する所たり某氏等夙に興産に志あり爰に何郡何村多數ヶ村に榜る所の官地を請ひ同志者と俱に開墾牧畜の業に従事せり爾來勉焉怠らず計畫宜を得て業緒日に月に整理し人口漸く増殖し遂に新に一村落を爲し何村と稱するに至れり勉めたりと謂ふべし手來りて茲に開村の式を行ふに會す首を回らせば昨は狐狸の巢窟たりし荆棘の區

も今や變じて良烟簇起の聚落をなす廐に牛羊の眠るあり庭に鶏犬の蹶るあり穀禾圃に秀で彌望際涯みし誠に人生快樂の眞趣を與へ國家福利の基たるを感せり尙望む今より倍す同志の者の協力忍耐なると隣里の交誼愈親密にして進んで富饒安樂の境たるを期し併せて農術改良の實効を奏せんことを一言以て開村式を祝す

●競馬場建設落成式祝辭

夫れ馬を養ふ者をして負重致遠の原理を先きにし毛色肉形の外粧を後にすべき所以を明かにし撰擇飼牧の法を勉め驚駘の跋扈を抑へて駿駒の眞材を試むるものは競馬より善きはなし競馬の擧果して能く馬格改良に功ありとせば競馬場の建設も亦た止む可らず茲に於てか我曹有志相謀り競馬場を建設し本日を下し其落成式を行ふ是れ豈に將來馬格改良の爲めに賀せざるを得んや按するに馬格改良の今日に急務なる所以は馬耕の用運搬の利を興すことを期すると將た軍隊に

使用しては、騎戦の功を奏するを期するにあり、故に其原を推し、其由て
來る所を究むれば、唯た競馬に因て、驚駘を陶汰し、駿駒を得るの一策あ
るのみ、然らば、則ち此競馬場の建設は、誠に一大美舉ありと言ふべし、仍
て此落成の盛典を祝す。

●種物交換會閉場式祝辭

種物交換會の農事改良に、利益あることは、今更に余が多言を要せずし
て明かあり、我村の有志者相謀りて、曩に種物交換會を開き、以て互に其
良種を撰擇交換す、思ふに此舉の我村農事上に、後來利益を興ふることに
大なりと謂ふべし、今閉場式を告るに當り、本郡長閣下親しく臨場して、
審査完了の薦告を領し、褒賞授與の典を行はれ、以て各位を獎勵せらる、
各位の名譽も亦た大ならずや、望むらくは各位將來益々業を勵み、這舉
の功績を發揚することを努めよ、不肖乏を村長に承く、故に各位に望む
所あるや、特に切なり、聊か不肖所懷を併陳して、以て之を祝辭に充つ

●桑苗交換會發會式祝辭

蠶業の盛大を計るには、桑樹を繁殖せしめざる可らず、桑樹の繁殖を計
らんと欲せば、桑苗を撰擇し、良苗を播施せざる可らず、茲に於てか桑苗
交換會を開くの必要を感すべし、是れ本會を此所に開きし所以なり、若
し夫れ此會の効果を奏するに至らば、我國蠶業の盛大は、期して見るべ
きなり、今發會式を行ふ、乃ち之を祝す。

◎商業

●時計店の開店を祝するの文

尺箋上呈、然れば貴君明日時計店を御開店に相成り候旨にて、迂生を御
招き被下、難有奉鳴謝候、就きては御案内に隨ひ、明日御指示の時刻まで
に推參仕り候て、御祝儀可申上候餘は、其刻を期し候拜敬

●小間物店の開業を祝するの文

一翰を裁し、欽呈す、尊下嘗て計畫せられし所の準備成りて、本日小間物

店を開業せらるると而して其仕入地は皆な一は東京に係ると然らば則ち品位の精良にして時勢の流行を穿ちたる物品のみなるは勿論之が爲めに當地の人の好尚に適し尊店の繁昌を祝るに至るべきこと毫も亦た疑ひを容れざるなり今野生は尊店の開業を祝し併せて向後の繁昌を祈る

●西洋小間物店の始業を祝するの文

短書捧呈仕り候兼て御目論見中の西洋小間物店を今日御始業被成候由承知仕り大賀の至りに奉存候爪かに承り候へば西洋小間物は格別外國爲換相場と密接の關係有之候爲め其價格の昂低の一髪間を容れざる裡に有之候由に候得共賢兄は内外の商況及需用供給の法をも逐一御明達被成居候故巧みに其商機を御回らし被成候は賢兄の御万福は期して見得らるゝ如くに有之候先づは御開業の祝詞までに略陳仕り候不盡

●旅宿開業を祝するの文

人文開發して交通の頻繁に起けば完全の旅宿をかる可らざるは敢て喋々の辨を俟たず貴兄の爰に土木を起して旅宿を新築せられし所以も亦た思ふに此にあらん而して其土功漸く竣りを告げ明日を卜して開業の典を擧ぐと豈に安んぞ祝賀せざるを得んや

●菓子屋の始業を祝するの文

上啓陳者貴家今度菓子屋御始業の趣き承知仕り大賀此事に御座候其使ひ被成候製造人は多く京都地方より老練の者を御呼寄せに相成り候由なれば定めて風味佳良よして人口に契ふものを御製造被成候事に候はん然る上は貴店の御高評を御収授あされ候事は看易き儀に御座候敬具

●料理店開業を祝するの文

料理の要契は庖厨精功にして良羹佳味なるにあり且殊に近昨文化發

旅宿開業を祝するの文 菓子屋の始業を祝するの文

達して、人々衛生を貴重す、料理の法も亦た大に從來の舊慣を洗滌して、改良する所なかる可んや、尊君深く此に見る所ありて、料理店を開業し、大に從來の舊慣を洗滌し、専ら人々の身軀を滋養すべき料理を調ひんとす、何ぞ其れ見る所の卓越なるや、僕之を聞く、豈に此尺書を飛ばして、以て其開業を祝する所なきを得んや、

●兩換店の始業を祝するの文

寸書を以て啓上仕り候、承はれば、今度兩換店御始業に相成り、諸種通貨の交換は、勿論諸株券及公債証書、或は古金銀地金類に至るまで、買賣取引被成候由、世人に便利を御與へ、被成候事誠に甚なからざるべくと存じられ候、右慶賀に堪へず、祝詞申上度、此の如くに御座候、謹言

●鐵物店開業を祝するの文

吾人の衣食住に使用する器具及原料中に就き、最も其多きを要するものは、鐵物に如くはなく、之を以て貴所は、這回某町に鐵物店を開業せら

ると、賤夫の此事を聞くや、偏に貴所の企舉を嘉祝し、併せて此後の隆盛を祈る、

●砂糖味噌醬油問屋開業を祝すの文

肅呈仕り候、然れば、高臺明日、砂糖味噌醬油問屋を御開業に相成り候に付き、御叮嚀にも、野生へ御招きの御案内に預り、忝く感謝し、堪へず候、然るに、野生明日は、手を抜き難き、商務有之候に、付、遺憾乍ら、參上仕り兼候へば、不惡御承引を乞ふ、右御斷り、旁祝詞申上度、草々頓首、

●貯蓄銀行開業式祝辭

一芥の塵も之を積み、以て大山とあるべく、一滴の水も之を集むれば、以て巨海となるべきなり、金銀と雖も亦た然り、夫の百千萬圓の大金と雖も、亦た其始めは一厘一錢の微より成る故に、人若し勤儉の心を勵まして、少額の金も貯蓄して、其心を恣まゝにせざる時は、終に多額の金を積み成すに至ること、決して難しとせず、而して世人の貯蓄する金圓を

保護繁殖するの機關は貯蓄銀行是れなり、噫貯蓄銀行の洪益あること、此の如し豈に世に益々這般の銀行の多からんことを望まざる可んや、是に於て某君等貯蓄銀行を創立し今其開業の典を行はる予は此盛儀に參し欣祝せざるを得ず茲に祝辭を述ぶ

●米商會所創立紀年式祝辭

維時何月何日、何地米商會所創立以來、第五回の紀年式を擧ぐ抑も我何地は南に何海を擁し、東北に何河を接し、西方に某鐵道の線路を控ひ、水陸運漕の便利に富むと共に、何國何國等の米穀特産地に近接す、是れを我何地米商會所の營業の盛大なること驚嘆すべきものあり而して其創立以來今此に第五回の紀年式を擧ぐるに至りしに誠に祝賀すべきあり不肖株主一同に代り聊か一言して之を祝辭に充つ

●生命保險會社代理店開業式祝辭

東京の何生命保險會社代理店を我何町に設置し今其開業の典を行はるゝに當りて、余も亦た陪席の榮譽を得たり、何の喜びか之に若んや抑も生命保險の世人に必要なるは敢て茲に言ふを須みざるも、亦た世人之を知る要するに吾人の健康を保持し、其死後に至り遺族の安全を得せしむるもの、生命保險に非ずして、他ま何か有らんや、然らば則ち何生命保險會社の代理店を、我何町に設置せらるゝは、我地方の人々に利益を與ふる豈に其れ少なからんや、殊に况んや本社生命保險の契約種目は尋常終身有限終身定期養老四種の外に他社に未だ嘗て之あらざる累加終身短期養老の二種あるを以て、其保險人に便利と福祉とを興ふること、一層多かるべきに於てをや、何そ其れ此開業を祝せざるを得んや

●株式取引所創立紀年式祝辭

我國商業の進歩せざる中に就き、最も其進歩せしものは、米商會所と株式取引所とのみ蓋し米商會所株式取引所等の、賣買取引は、從來舊慣の

現金と物品との交換に非ずして、期を定め見本を以て、賣買取引するに
あるが故に、我國の商業中に、此の如く進歩せしものは、決して他よ之の
らざるあり、願ふに我株式取引所を創立せし、何年何月にして、午後第
六回の紀年式を行ふを得るものは、抑も亦た株式取引の盛大あると、役
員諸氏の經營とに、由らずんば、あらざるなり、今や第六回紀年式を擧ぐ
るに當り、仲買商總代として、予、此盛儀を祝賀す

縫箔商店開業式祝辭

夫れ世上に縫箔品の多き、精巧艶麗のもの、寡しとせず、然りと雖も、美術
の真相を穿ち、精神韻髓活動して、人々の心目を驚嘆せしむるもの、至
りては、世に甚だ稀なり、豈に悲まざるを得んや、某君此れを慨き、縫箔商
店を開業せらる、而して其刺繡する所のものは、一に美術の真相及典據
を涉徹し、箇々清新、意匠靈妙、織地の表に煥發せしめんと欲すと、君の志
も亦た切なりと、聞ふべし、此切なる志を以て、此店を開業す、將來の隆盛

ならんこと、今より豫知すべきあり、聊か非文を以て、本日の式を擧ぐる
を祝す、

吳服太物店開業式祝辭

某君今此に、吳服太物店を開業し、其式を行はる、余惟ふに君の商業の達
職あるは、毎に敬服せり、故に此店を開き、獨得の商業を、巧妙に回らさる
に、至らば、則ち其上、吉利市ならんこと、得て之を知るべきなり、乃ち小
言を以て、祝詞に充つ、

商業講習所開所式祝辭

今や社會の氣運一變して、内には、人々空理を談すること、を止めて、農工
商の實業に就んと欲するあり、外には、歐米諸邦の商人が、萬里貨物を運
漕し來りて、廉賈低賣、以て我國商人の商領地を占奪し去らんとす、此時
に方りて、我國商人の最も急務は、先づ商業上の智識を研磨し、彼れ歐米
商人に對峙して、失敗することなきを得るの、伎倆を具ひざるべからず、

茲に於て我輩有志協議して商業講習所を設立し、今其開所式を行ふの佳運に會ふ、我輩如何ぞ之を祝せざるを得んや、庶幾くは我輩向後此講習所に據りて、以て商業上の智識を養ひ、萎靡不振の商勢を盛大ならしむるに至らんことを、茲に之を望み併せて祝意を表すること、爾り、

●商標公示式祝辞

商品の精良と信用とを保持増進するには、必ずや商標なかるべからず、我同業某氏、曩に商標登録を農商務大臣に請ふて、頃日其允許を得らる、之を以て本日を下して、該商標公示の典を擧らる、是れ蓋し某氏の爲めに祝賀すべきの盛事と謂ふべし、余焉んぞ之を祝せざるを得んや、

●手形交換所開業式祝辞

手形隨引の商業社會に、便益を與ふるは、敢て喋々の辨を俟たずと雖も、從來我邦商家の慣習は、物品の賣買に専ら現金の取引を爲し、資本を増殖運轉するの道に乏しく、爲め、往々資本の欠乏に至すを免かれず、豈

に憾みなかる可んや、我同業者茲に見る所あり、手形交換所を設け、今其開業の典を行ふ、若し夫れ本所に於て、手形の取引及交換を盛んにし、割引の方法を擴張して、商人に便益を與へば、亦た以て近時衰頹の商業を、熾んならしむるを得べきなり、仍て此開業の典を祝す、

●倉庫會社始業式祝辞

商業取引の媒介を爲し、將た商品の保管を安全にするものは、倉庫會社の要務とする所にして、倉庫會社の商業社會を利益するの功あるは、亦た大なりと謂ふべし、吾等同志と相識し、此に倉庫會社を設立し、開社の典を執行す、幸にして當路の官吏及紳士諸君の貴臨を辱ふせしは、是れ深く吾等の欣喜する所なり、庶幾くは吾等此社を設立せし、目的に違はず、保管の商品日に益々多く、委託販賣の道、漸を追ふて廣まらば、豈に亦た本社が商業取引の媒介を、資くるの功あしとせんや、依りて茲に貴臨せられたる、賓客諸君の勞を謝し、併せて本社始業式の祝辞と爲す、

●商業會議所新築竣工式祝辭

夫れ商工業者の機關となり之か利害を代表し以て其團體に自治權を
運行するものは商業會議所なり我市の商工業者は曩に主務大臣に請
ふて某商業會議所を設け其新築の工竣りて茲に其式を擧ぐ是れ本市
商工業者の爲めに祝賀すべきの盛事なり按ずるに商業會議所の功果
を顯さんと欲せば物産興起の法を講し輸出入の道を計り商品の増減
通貨の集散爲換取引及委託販賣の状況製造家と職工との其資本及賃
銀の増減高低等を調査し以て商工業者の福利を増進せしめざる可ら
ず思ふに此商業會議所は能く其職務を盡して功果を顯すに至るや更
に疑ふべからず乃ち本日竣工式の盛事を祝す。

●銀行開業式祝辭

茲に何銀行開業の典を行ふ願ふ此は銀行の能く資貨を融通し經濟社
會の機關たるべき責任を盡さば則ち又殖産興業の基本ともなるを得

べきは敢て論ずるを俟ざるなり果して然らば此銀行の設置は當に株
主諸氏の爲めに慶賀すべき事なるのみならず社會の爲めに大に祝賀
すべき事なりと謂はざるべからず不肖は此盛典に參列するを得たる
を欣喜し聊か非辭を述べて以て祝意を表すと云爾。

●商業學校卒業證書授與式祝辭

夫れ商業は一大活機にして此活機を回らして以て利益を博せんと欲
せば則ち需用供給の理を知り通貨及物品集散の理を知り内外實際の
事情に通じ機敏活達時に臨み變に應ずるの才智なかる可らず而して
其才幹を蓄へ智識を養ふには必ずや商業學を修めざる可らず噫々商
業學の必要なること此の如し之を以て我町曾て商業學校の設けあり
て幾多の生徒を養成し現に日本卒業生十有二名に卒業證書を授與す
るの式を擧ぐ今茲に卒業證書を授與したる所の諸子は後來商戰場の
將校とあり策士とありて奇正變化商戰場裡に馳驅し以て商利を博す

べき重任に膺るの諸子なれば、今より本校を出で、實業に従事するに當りては、須らく自己の重任を荷ふことを忘れず、其本分を盡す所なかるべからず、是れ余が切に諸子に望む所あり、聊か抱懐を記して、以て祝辭に代ふ。

●商品陳列所開場式祝辭

今や我國の商況を視れば、賣買取引未だ發達せず、手形交換未だ能く行れず、其他依托販賣見本取引等の事も、亦た未だ進歩せざるなり、嗚呼、我國の商業は何ぞ、其れ此の如く依然として、萎靡不振なるや、我曹有志者大に之を歎き、商品陳列所を設立し、今茲に其開場式を行ふ、是れ則ち依托販賣見本取引を盛んならしむる方法の一階級にして、將さに此れより我國の商業を進歩せしめんことを期するにあるなり、然らば則ち此開場式は安ぞ之を祝せざるを得んや、

●勸工場開場式祝辭

按するに勸工場の目的は、幾多の商品を一場に陳列し、勝手に人々に縦覽を許して、購客たらしめんが爲めなり、而して陳列する所の商品に正札を附するは、購客をして其價の高下を、一目に知らしめんが爲めなり、之を要するは、勸工場は、賣買相互に便利を與ふるの市場なるが故に、輕便を旨とする、文明多事の社會に於ては、豈に焉んぞ勸工場なかる可んや、吾等茲に見る所ありて、勸工場を設置し、今其開場の典を擧るに當り、町長議員警察官各位を始め、紳士諸君の臨場を辱ふす、本館の光榮は何ぞ之に過さん、不肖館員一同、代り一言以て祝辭とす、

◎工業

●紡績會社創設式祝辭

工場が多寡を以て一國の貧富を卜することは、歐米諸邦の定説なり、其然る理由は、蓋し工業の盛衰、國家の貧富に關係すること大なるものあり、るを以てなり、方今我邦工場の設け日を、遅て増加し、殊に紡績工場の如

きは、其既設に係るものゝみにて、凡そ七萬九千八百卅鍾にして此他に尙ほ創立計畫中のもの凡そ十有五萬鍾に下らざる可しと云ふ、亦た以て其盛んなることを知るに足る可し、然るに某氏等も、今亦た紡績會社を創設し、茲に其式を行はる思ふに、此社工場の烟筒より、日夜烟を噴き、器械快活に運轉して、絲を紡に至らば、我邦紡績事業は、更に其盛大を致すや知るべく、而して其國家の富力を増進するに至らんことも、亦た必然なり、豈に此盛事を祝さざらんかと欲するも、亦た得べけんや、

●工業談話會發會式祝辭

工業上の技術を進めんと欲せば、則ち工業的の智識を養ふより善きは、なく、工業的の智識を養はん、と欲せば、則ち工業學士に據て、工業上に關する有益の講談を聽き、或は同志相會して熟話し、道を精ふし、理を審らかにする事を始むるにあり、我曹此に見る所ありて、此工業談話會を設け、今發會式を行ふに至れるものなり、小言を述て之を祝す、

●油製造の創業を祝するの文

一簡呈上候、貴所兼て御所望の油製造業を、愈々明日御始め被成候由、大賀此事に御座候、按ずるに油は人間の衣食住に取りて、最も必要にして、殊に使用の區域廣く、販路多きものゝ趣きに付、き定めて御企擧の日ならず、盛大になることは、必然に可有之と、愚考仕り候、依て小生は御企擧を祝するの意は、我心に充溢致し、中候、勿々

●袋物製造の始業を祝するの文

野書拜呈、今度大兄には袋物製造を御始業被成候旨、承知仕り欣悦の儀に奉存候、殊に職工は東京に於て、精練の者を御雇聘に相成り候由、定めて御出來榮は見事の物なるべく、隨ふて諸人の高評致す所と、あらば、御盛運に至ることは、明白に有之候、右祝詞申上度、此の如くに御座候、不一

●傘製造の開業を祝する文

卑翰を以て申上候、陳者貴下傘製造の業を御始め被成候趣き、傳聞仕り

候、斯業は貴下兼て御経験も被為在候由に候へば、精巧の御製造なるべきことは勿論、御業務の御經營も充分に被成候事は、御自在に可被為在と奉存候先つは御始業の祝詞申上候再拜

●指物職の創業を祝するの文

蕪文拜呈仕り候、然れば尊君明日より、指物職御創業被成候に付き、其御祝宴へ、往生を御招きに預り、御深切の段奉謝候、何れ明日貴命に随ひ参上可仕候得共、不取敢御創業の吉祥を祝賀仕り、置き申度、旁斯の如くに御座候拜伸

●足袋縫職の始業を祝するの文

聞く君、今回足袋縫職を始むと、蓋し君が嘗て東京に出て、數年修練したる手腕は、凡庸の得て遠く及ぶ可らざる所なれば、思ふに君の手腕に成るものゝ人意に恰好し、其業の繁昌なるに至るを知るべきなり、依て此祝詞を贈る

●洋服店開業式祝辭

某君時勢に見る所ありて、洋服店を開業せらる、聞く其職工は、横濱より招聘し、其服地品柄に流行を穿ちたるものを、撰み、精巧に調製すと言ふ、果して然らば、其洋服を着て、議會又ハ宴會等に出づ、恰好の高尙、嫺雅にして、嚴肅ある威儀を保ち、衆人に敬服せらるゝの徳を、世人に與ふるや、必然あり、君の洋服店の、向後繁榮するに至ること、刮目して之を見るべし、今開業式を行ふ余は、此言を以て祝詞とす

●麥藁製工場始業式祝辭

近年麥藁製工の行はるゝや、年は一年より、斯業の隆盛を見る、某君此に願ふ所ありて、麥藁製工場を設置し、本日、以て其始業の典を擧らる、抑も亦た斯業の隆盛を見るの時に於て、君の企舉せらるゝ所のものは、誠に能く其機に投じたるものと謂ふべし、冀くは本場の盛運に赴き、収利の多きを見るに、懽らんことを、聊か予が冀望の意を、陳述し、以て之を祝

詞に充つ

●烟草製造所始業式祝辞

維時何月何日某君多くの賓客を聘して烟草製造所の始業式を行はる予も亦た君の案内を忝ふして此盛典に参するを得たるは誠に是れ光榮とする所なり何ぞ一言せざるを得んや按ずるに某君の烟草製造に熟達せらるゝは衆の能く知る所なれば則ち將來君が製造する烟草は佳味純良にして喫烟家の嗜好に恰合すること敢て疑ふ可らず然らば則ち其繁昌を期すること近きにあり故に予は本日の盛典を祝す

●製紙場建築落成式祝辞

某君の幹理せらる製紙場は曩に新築を経営し漸く頃日落成して今此其式を行はる是れ蓋し本場の事業熾んなるに依りて能く此新築經營するを得たるものなり而して其事業の熾んなるに至りし所以は本場の製紙の紙質硬剛にして鮮明なるを以て世の需用の多きに由る向

ぞ本場の爲めに祝せざらんや

●電燈會社紀念式祝辞

光輝著炳にして經費の少きもの電燈に如はなし我電燈會社の創立より以降此に二年の荏苒を換え而して社運益々盛んにして電光と共に其光を争ふは誠に我社の幸福と謂ふべし本日第二年紀の紀念式を擧ぐるよ及び不肖株主一同に代り此祝詞を述べ

●煉瓦工場營業擴張式祝辞

本場製造の煉瓦は精巧と堅牢とを以て大に世上の需用を増し爲めに往々其供給に支障を生じ延て世上の恩顧に負くに至ることなきにあらず是れ實に本場の更に營業を擴張し益々て全力を盡すべきの時ありと信せり仍て今回工場を増設し新奇輕便なる器械を据附け從來に比し二倍せるの多製を期せんとす茲に營業擴張式を擧ぐるに因りて聊か所懐を述て以て祝詞に充つ

●寫真場新築落成式祝辭

寫眞の技術は多く光線の作用に緣由し、光線の作用は寫眞場の構造如何に原因す、某氏曩に工を興して、寫眞場を新築されしが、此程落成して今其式を行はれ、予も亦た此式に列するを得たり、何ぞ祝する所なきを得んや、之を以て此に祝詞を述ぶ、

●船渠開業式祝辭

航海の事業繁多ければ、船舶の修繕製造も、亦た頻繁とあり、爲めに船渠の必要を感ずるに至るべきは、是れ自然の理なり、我何浦は南海の要衝に位置し、船舶の往復すること頗る繁多とす、此地にして船渠の必要なること、豈に敢て論を俟んや、某君等相謀り、船渠を設け、盛んに今より船舶の修繕製造を始めんと欲し、今其開業式を擧ぐる、某氏等の所見は、何ぞ此の如く、其れ宜きを得たるや、余は満悦して之を祝す、

●陶器製造者組合結成式祝辭

飲食器に、玩具に、庭園に、家屋に、陶器の必要なることは、今更に喋々せざるも、亦た能く世人の知る所なり、然り而して陶器は實に我國重要の國産にして、従來海外諸邦に輸出するもの、誠に許多なりしも、近年に至り其輸出高の、大に減少せしは、是れ職として我當業者の才氣に乏しくして、彼れ海外諸邦の人の好尚に適ふ物を製造すること、能はざるに由らずんば、あらず、茲に於てか、我町の當業者相謀り、陶器製造組合を設け、本日其結組式を行ふ、蓋し是れより彼れ海外諸邦の人の好尚に適ふ物を製造して、其輸出高を多からしめ、以て國家の利益を期圖するを得べし、豈に之を祝賀せざるを得んや、乃ち之を祝詞と爲す、

●製藍會社開業式祝辭

製藍の精粗は織物の精粗に關すること、大あり、製藍會社の設立、豈安ぞ之なかる可んや、曩に某氏等は、化學の應用と、多年の經驗とに依りて、藍の色出し法を發明して、大に世上の高評を得られしが、今や製藍會社を

設立して盛んに製糖事業を起さんと欲す、何ぞ其擧の善美なるや、余は大に製糖機械社會の爲めに、此れを祝賀せざるを得ず、仍て聊か菲詞を記して之を祝す。

● 汽船大和丸進水式祝辞

駛立の輕快にして海客漕貨を安全に運載するものは、汽船に如くはなし、近世汽船の行れて、世界文明の度を進めりと言ふは、蓋し詭言にあらざるを知る、本港の汽船會社は、本日を下して大和丸の進水式を擧られ、予も亦た式場に陪するを得たるは、實に欣喜に堪へず、聞く大和丸の構造は、長さ凡る百尺にして、幅は廿四尺、吃水は一尺七寸にして、速力は一時間に十海里なりと言ふ、然らば則ち此船の後來世人に便利を與ひ、將た文化の進歩を資すること、多きを知るべし、茲に恭しく、此進水式を祝し併せて、汽船會社の萬福を祈る。

● ヂイヤツキ製造所始業式祝辞

ヂイヤツキ製造所始業式を行はるゝに當り、不肖も亦た式場に參列するを得たるは、是れ無上の光榮とする所なり、抑もヂイヤツキは家屋土藏を自由に昇動し、酒醬油、砂糖等を搾るに使用すべき器械にして、此れを用ふる時は、諸般の製作工業に、人力を省き、經費を減すること、最も少ならずと言ふ、今や我國諸般の製作工業將さに盛んならんとす、此時に當りて、ヂイヤツキの需用も亦た多かるべきは、是れ自然の道理にして、之を供給する此ヂイヤツキ製造所の起らざるを得ざるも、亦た敢て論を俟たざるなり、不肖安ぞ本日始業式を祝せざるを得んや。

● 麥酒會社開業式祝辞

近來我邦人の麥酒を嗜好する者、年は一年より多く、爲めに毎年歐米の輸入品を仰ぎ、我貴重金の貨を彼れに領取し去らるゝもの無慮數十萬圓の多きに至らんとす、豈に慨歎せざるを得んや、某氏等深く此に憂ふる所ありて、麥酒會社を組織し、品位純良の麥酒を醸造し、廣く我邦人の

需用に供給し、以て輸入品を仰ぐを防制し、國益を計る所あらんとす、而して其開業式を此に擧ぐ、是れ豈に時勢に適應したる措置よしして、我邦經濟の急を救ふの良策あり、余何を祝する所なかる可んや、飲みて之を祝す、

●工業學校創立式祝辭

一國の殷富なる原因は、工業の熾んなるにあり、工業にして熾んなれば、商業貿易は自ら盛んに赴き、一國の殷富は期して見るべし、然れども工業の學理に致ふること、最も多ければ、其精究を要するは得て知るべきなり、今や當地に工業學校の設けありて、蒸氣機及汽機の使用、法石炭の焚き方、煉瓦及セメントの使用、法、屋上鐵及木材の使用、法、ポンプの裝置及水利法、瓦斯及電氣の應用を攻究せしめ、以て工業の進歩を計らんとして、本日創立式を行はるゝに會ふ、仍て此燕言を述て、之を祝す、

●度量衡製造所始業式祝辭

度量衡は商業貿易の標準となるべきものにして、最も貴重の物たるは更に言を須へず、今回某氏官に允許を請ふて、度量衡製造所を開設し、此に始業式を擧ぐ、其れ此れより商業貿易に標準を得せしむる、度量衡の世に出で、生民を利益し、國家を多福ならしむること、得て之を知るべきのみ、故に恭しく此に祝辭を白す、

●織物場始業式祝辭

夫れ織物は我國重要の物産にして、斯業の盛衰は實に我國の貧富如何に影響す、嗚呼、織物業者の位置も亦た重しと謂ふべし、然るに我國織物業者の頭陋なる、人々の嗜好に投する事を努めず、品物を精良ならしめ得ず、價を廉ならしむる能はず、時の相場に應じて、巧みに業務の進退を爲し得ざる等の此四個の原因は、我國織物業者に免かるゝこと能はざるの通患にして、斯業の萎靡振はざるも、亦た此に原因するや必せり、某君茲に慨き慘愴苦辛して、織物場を經營し、本日を以て此盛んなる始業

の典を行はる余常に織物業の盛衰に着目すること亦た某君と同じ某君の此舉ある安んぞ慶賀せざらんや乃ち之を祝辭と爲す

●活版職工組合結成式祝辭

活版の事業益々進歩して社會の文化を煥發すること愈々大なるの今日に當りては當業者の組合を設け互に智識を交換し、技術を精巧ならしむるの必要を見るは是れ自然の道理あり之を以て吾等當業者相謀り活版職工組合を結成し今其式を擧ぐ是れ當業者の幸福を増進するの基と謂ふべし不肖蕪言を陳じて之を祝す

●炭礦會社始業式祝辭

文明の風潮滔々として社會に限り製造工業交通等の事業に至るまで多く瀛力を驅るの今日に於ては石炭を用ふることも亦た最も多しとす既に石炭を用ふること多ければ其炭礦事業の必要なること豈に取て論を俟たんや某君等の炭礦會社を創立せられしものは寔に能く時

勢に適應する美譽と謂ふべし本日始業式を執行さるゝに當り余も亦た招聘を辱ふして此盛典の場に列す故に謹みて此祝辭を述べ

●專賣特許紀念式祝辭

我同業某君の何器械を發明して專賣特許を得られたるは實に今を去ること三年前なりき而して今茲に三週年紀の紀念式を行はるゝは豈に某君の爲め又國益を増進する爲めに祝せざるを得んや抑も一國の文明は有益なる器械を發明して以て人々の利益幸福を計るにあらざるとは歐米諸邦の歴史と事實とに徴して之を知るに足れり然らば則ち某君の何器械を發明し專賣特許を得られたる三週年紀の紀念式を行はるゝに會ふは誠に國家の爲め某君の爲めに祝すべきなり

●ラム子製造場開業式祝辭

炎熱の候にありて吾人の精神を爽かにし胸裡を涼しからしめ以て能く健康を保たしむる者は「ラム子」に若はなし然れども世上粗惡の「ラム

多くして、精良のもの甚た少なし、茲に於て某君ヲムチ製造場を開業し、本日其式を執行し、余も亦た式場に與かるの光榮を得たるは慶幸に堪へず、按ずるに此製造場より出づるラムチは芳香佳味なれば、將來某君の業運も亦た大に榮えて世上に芳香たらんことを祈り、併せて本日盛典を祝す。

●塗物職工組合結成式祝辭

漆器は我國特有の名産にして、歐米諸邦に比類なき物なるも、近來粗惡の漆器を製造する不長漢ありて、爲めに漆器の本領を毀くるに至る、今此惡弊を改良せしむば、我國特有名産なる漆器の價值は地に墜去らんとす、我等深く之を憂ひ、塗物職工組合を結成し、嚴に規約を制定して、互に之を遵守し、以て各自の利益を維持せんとす、是れ時勢に應じて、然らざるを得ざるに出づるものとす、本日結成式を行ふに當り、一言して之を祝辭に代ふ。

◎土木水利

●堤防築造落成式祝辭

夫れ治水の要は、河水を堰上て、之を溝渠田野に灌ぎ、或は堤防を築きて、洪水汎濫を防ぎ、或は橋梁を架し、通船を往復して、運輸交通の便を資るにあり、治水事業の緊要なること、亦た以て知るべきあり、我某川は、昨年九月廿四日連日の降雨に依りて、水力溢瀉し、河身を壞り、北方に沿ふ堤防を崩壊し、爲めに其西南の田畑多くを荒蕩するに至り、我村民の不幸は實に言ふべからざるものありき、爾來村長助役及村會議員各位は、百方堤防築造の事を措置し、熟練の技師を招聘して、實測設計を請ひ、學理と實驗とを應用して、完全なる石堤を築造したり、之を從來不完全ありし堤防に比するに、今茲に築造したる、石堤の堅固あるに若くべからず、本日其落成式を行ふ、如何ぞ之を祝せざるを得んや、乃ち之を祝辭とす。

●公園地開園式祝辭

吾人の心を養ひ、且つ之を樂ましむるものは、公園に若くはなし抑も公園なるものは、要するに佳麗ある山水を備ひ、地境を優美にして、以て人心を慰め、心胸を養ふの主義に外ならず、公園の必要あること、亦た以て之を知るに足るべし、曩に我郡有財産の一ある某山を開鑿して、之を公園と爲さんことを議決し、其土木を起す茲に半歳、今や其功を畢り茲に其開園式を擧ぐ、若し夫れ此公園能く吾人の心を養ひ、且つ樂しむること大ならば、亦た以て吾人業務を精勵するの主動力たらずんばあらざるなり、此に於てか此公園の功あるを見るべし、今所見を述て之を祝す、

● 橋梁架設竣工式祝辭

何橋架設工事を竣り、茲に其開通式を行ふ夫れ橋梁の目的は、人車の交通を容易にし、貨物運搬の便利を自由ならしむるにあれば、即ち此橋の架設成りたるは、交通商業を盛んならしめ、國家の富強を計るの基本と謂ふも、亦た敢て誣言に非ざるべし、不肖町會議員として此祝詞を述ふ、

● 疏水開通式祝辭

殖産興業の基本は、水利を籍りて以て人工を資けるより善きはなし、故に社會文明に進み、殖産興業の途關くるに随つて、水利事業の頻繁に赴くべきは、是れ自然の理なりとす、以て其水利事業の殷富強に關係する所あるを察するの足らんのみ、我村疎水工事の如きも、亦た殖産の基を立て利用の道を計らんが爲めに、之を起したるものにして、其赴工以來、茲に二年の星霜を閱し、今や漸く竣功を告げ、本日を下し郡長閣下を始め、區裁判官、郡徴兵駐在官、警察官、小學教員、村會議員、其他紳士諸君を導いて、疏水開通の典を擧るを得るは、誠には是れ我村の光榮と謂ふべし、若し夫れ此疎水起工以來の閱歴の如きは、別冊に詳録せり、故に其別冊に就き知られんことを、唯た夫れ此本日の光榮ある開通式を空しからしめず、又疎水起工の考案を空しからしめずして、水利能く我村の殷富を増進せんことを冀ふと共、聊か祝賀の意を白す、

● 悪水樋門改造落成式祝辞

我村の某樋門は、某河の土砂流出するより、河底壅塞し堤内の悪水を吐水し難く、随つて田畑に灌漑する用水に腐敗を來たし、其改造の工事を起せしに、漸く工を竣り、茲に落成式を行ふに至りしは、是れ誠に祝すべきことなり、蓋し我村の耕田に灌漑する水は、最も多く某用水に取れり、故に其樋門改造して、悪水を除き去るを得ば、我村民の福利を増すに至ること知るを得べきなり、余何ぞ一言の祝詞なきを得んや、

● 某河河身改造落成式祝辞

農商の興廢は邦家の盛衰に關し、治水土功は農商の興廢に關す、熟ら考ふるに我村の位置たる、某々の河川は之が經緯を爲し、而して其下流は皆な近海に落つ、故に我村民は河海の水利を灌漑、連漕、漁獵に得ること甚なからすと雖も、某河は元來某川の幹流にして、其一朝出水すれば、河水氾濫横溢し、堤防を決潰して、人家田畑を流蕩すると屢々なりしも、是

れ職として河身其宜しきを得たるに由る、依て曩に我村民熟識して、其河身改造の工事を起したりしに、漸く其工を竣へ、此盛大なる落成式を擧るに至る、是れ誠に我村民の一大慶幸ならずや、謹みて此典を祝す、

● 水道敷設竣工式祝辞

吾人の生活に必要なもの多しと雖も、水の如きは一日も亦た之を欠くべからざる、必要のもの多しと雖も、水の如きは一日も亦た之を欠關すること最も大なり、我町及某村聯合して水道を敷設す、而して其水源を某川に取る故に、其沈澱池及沈澱法の設計、水路土管の敷設、今や全く竣工し、茲に其式を行ふに至りしは、余の大に欣喜に堪へざる所とす、此に於てか鄙文を忘れて之を祝す、

● 新道開道式祝辞

余適に巡視の命を奉じ來て、此の盛んなる開道式に會す、因て一辭を演て祝さんとす、元來此工事は、何國何郡何驛より、全國某村及某原を経て、

何國に達する三十有餘里の國道よして舊道を修むるあり新道を開くあり各相待て國利を爲すものと謂ふと雖も其原の新道尤も其効力を有するものとす抑も何年何月余が巡視の際其原開拓の計畫ありと聞き即ち此地を一見せしに歲薄地を塞き風之を渡れば滴々海波の如くなれば當時竊に容易なざらる事業と感ずる所ありし爾後何年某道出張の歸途再び此地に來りしに狀況大に更まり開拓概ね其緒ま就きしが如くなりしに本年本月此會に列するに當り季節は正に往年に全じと雖も當時歲薄の限りの如き曠原は變して平坦砥の如き公道とあり車馬是より跋渉の勞なく都鄙始めて交通の便を得べし僅々數年間能く此大事業を竣へしは余が當初意想の到らざる所にして官民の勉勵と協力とを以て其功を促し斯く迅速に遂げしめたるは實に嘉賞に堪へざるなり蓋し今日より道路新設の實用に適し車馬必ず之より物産必ず之を経過し遂に其幅員を狹しとし修めて之を擴むるに至るは

斷して疑を容れざる所なり然れども古來往々新設の道路にして至良至美の觀を呈するも幾星霜を経ざるに荆棘之を掩ふものあるを見るは單に事業の速成を喜び實用するの道を省慮せざるに因らざるはなむ故に今此眞道開鑿の始めも當り其之を實用すべき沿道地方物産繁殖の事を擧げて官民の責とし且つ官民を問はず此新道を永遠に保存する事業は其之を開道するに均しきを記し道路に算する實用を起すを務め汲々止むなからんことを切に望むは今日に於て飲くべからざる要項あらんと確信し盛事を祝するに臨て此に一言す

◎法律

●法學攻究會發會式祝辭

法律は吾人の權義よ最大關係を有する重要なものなり世運の進歩して人事復雜に起き優勝劣敗の理法の行れて弱肉強食の狀現はるゝに至れば吾人の權義は法律の保護に由らざんば何に因てか其安全を望

まんや、吾人の法律に於る、安んぞ之を攻究して、以て其法理の何たるを知らざるを得んや、吾輩等深く時勢の趨向する所より、法律學を攻究するの必要を感じ、今や某法律學士を聘して法學攻究會を開き、聊か法理を攻究する所あらんと欲し、本日を下して其發會式を行ふ、乃ち茲に一言を述べて祝す、然れども凡る世上種々の會合多しと雖も、始終を能く全ふするもの誠に少なし、是れ吾等の深く猛省して、本會の始終を全からしめん、あを期圖せざるべからず、時に之を附言して、本會友諸子と共に成とせん、

●市町村制議義會發會式祝辭

夫れ市町村の行政は、國家法律の範圍内に於て、自主の權を執行し、市町村の幸福を増進し、安寧を保護するを以て、趣旨と爲す、然り而して其行政事務及權義の交渉する版圖頗る廣くして、且つ大あり、茲に於てか市町村行政の意義及理法を講究して之を實務に應用することの最も利

益あるべきを信ず、此意を以て我輩等曩に各市町村長及、助役、収入役、其他吏員諸君に謀りしに、皆な何れも賛成を賜り、本日、以て市町村行政講究會の始會式を擧るを得たる、我輩の喜悅、何者か之に若んや、依りて鄙言を列擧して祝辭とす、

●府縣郡制講義會發會式の祝辭

吾曹等協同して、府縣郡制講義會を開設し、博備全く整ふて、今茲に其發會式を行ふに至る、何ぞ之を祝せざるを得んや、蓋し吾曹等の幸福を増進し、地方共同の利益を發達することを期圖するものは、自治制あり、其自治事務と國家事務との限界を規畫し、以て國利民福を助長するものは、實に府縣郡制ならずんば、あらず、然らば、則ち之を講習せずして、可ならんや、是れ吾曹等の本會開設の擧ある所以にして、而して此の如き盛んなる發會式を行ふことを得たれば、吾曹の望外に出づ、安んぞ之を祝せさらんや、

●法理研究會始業式祝辭

法律を學ぶ者は、先づ法理を研究せざる可らず、法理は經にして、法律は緯なり、法理を研究して、法律を學ぶ始めて以て經緯全璧して、其功用を見るを得べし、然れども法理は、深遠あり、能く之を研究するに非ざれば、其濫與を洞觀すべからず、是れ我有志者の法理研究會を開くに至る所以なり、今や始業式を擧るに當り、其由來を述べて以て、之を祝詞と爲す、

●地方實務演習會閉場式答辭

地方の實務職事、兵事、土木、勸業、教育、収税、其多きこと何ぞ限らん、此の如き實務を演習するは、我輩町村吏員の宜しく之を努めざる可らざるの事なりとす、我郡長閣下曩に我輩町村吏員一同に實務演習會を開く必要を説き、其順序方法を示さる、此に於て我輩等は、此會を本月何日に開き、其日を閱すること三日間にして、地方實務の全部を演習し畢り、茲に閉場式を告るに當り、郡長閣下臨場して、懇篤の諭告を賜ふ、我輩等深

く此諭告を履踐し、今茲に演習したる功果を、實務に施せば、庶幾くは以て閣下の厚意に報ふるを得べし、不肖各町村吏員一同に代り、此答辭を述ぶ、

●土地収用法聽講終了式祝辭

我村の土地大半は鐵道用地に、収用せられんとするの風説あるを聞き、其準備として我村民は、此程法學士某氏を聘し、日々土地収用法の講義を聽きしが、今や聽講終了し、我村民の得る所も、亦た少なしとせず、茲に其式を擧ぐるは、實に是れ慶賀の至りに堪へず、仍て一言之を祝す、

◎地方官衙

●村役場新築落成式祝辭

向村役場新築工を竣へ、本日をして、移轉式を擧ぐ、從來の本村役場は、位置構造共に、其宜を得ず、官民不便の感、少なからず、又村長爰に見る所あり、本年何月臨時村會を開き、役場新築費議案を以てす、村會を之は、是認

し多数を以て之を可決し爾來經營工事を督勵せしに漸く功成るを告
 く今親く臨んで之を見るに其地たる至便其舍たる質素にして堅牢克
 く村の公會たるに於て遺憾とする所なし諸子自治の精神に鋭なるに
 わらずんば焉ぞ如斯を得んや將來益一致團結以て本村の福利を増進
 せられんことを望む

●村役場移轉式答辭

本日役場新築移轉式を舉行するに際し幸に郡長閣下其他各位の臨場
 を辱ふす本村及び不肖等の光榮甚なしとせず抑も本村は明治二十二
 年町村制實施に當り舊何ヶ村を合併組織す其區域廣袤人家も亦衆多
 なり其機關たる役場は堅牢鞏固ならざる可からず然るも費用の増加
 を厭ひ爲めに新築を猶豫し舊戸長役場を以て之れに充れども公簿堆
 々器物積々狹隘實に窮極す又議事堂の如きも寺院を借用すれども是
 亦不便なり是に於て村民夙志のある所即建築の策を立て本年何月何

日村會を開き以て新築の事を決議し其工事委員を撰定し土を起し六
 月に至て全く其工を竣ふ是日に議員各位公衆の協力と盡力等に依り
 今日の美典を行ふを得るに至る不肖并舞指く能はず將來猶一層奮て
 自治の實を擧げ本村の福祉を期せんと期す滿場の各位遠近を厭はず
 來臨の厚誼を謝し以て本式の答辭に充つ

●縣衙移轉式祝辭

某縣治を某市に移し新功を竣ふ茲に何月何日を以て開廳式を行ふ
 誠に感喜に堪へず惟るに爰者縣治の猶某市に在る實に一方に僻在し
 斯民の不利少々に非ず本年何月始めて移廳の令を得衆皆欣喜其或
 は一部の民情に適はざるも以て全州の輿望に負き難し乃ら何年
 の何月を以て功を起し丘陵を夷け水澤を埋め以て畚以て築き廳堂
 是れ經し肩畧是れ營す凡る日たる一百有餘日にして竣を告ぐ其財と
 力とは皆管民自ら効す所統計財を費す何萬餘圓夫を役する何萬何千

民の勤る亦至れり抑も其勞既に異常彼の如し故に其効も亦た神速此の如きのみ自今爾後吏民益勉め己まづんば國利民福の興起する期し難きに非ず不肖將又犬馬の勞を効し事に茲に従はんとす今聊か所懐を陳し祝賀すと云爾

●郡役所の移廳式を祝するの辭

凡る公廳の所在位置の如何は官民の便否に關し且つ政務の舉否に關すること大いなり今や我郡役所は上斑官廳の許可を得て某村より某町に移る是れ所謂偏倚の治を應し亨通の區に移るものにして官民普く其便を得べく郡政全く舉揚するを得るに至るゝと望も亦た之を疑ふべからず今日移廳式を行ふを以て之を祝辭と爲す

●直税分署新築落成式祝辭

社會の文化進歩して經濟の理法發達すれば稅務も亦た隨つて複雑なるべきは是れ自然の理あり既に稅務復雜なるに至れば其稅務を執る

官署も亦た適當なるものを要すべき筈なるも我署は創設の際民家を賃し稅務を處理し來りしが故に其不便は特に太だしかりしに今や此輪奐たる土木を経營し了りて茲に落成式を行ふの運に會ふ我地方官民の便利と幸福とは夫れ幾多ぞや不肖慶賀に堪へず此祝辭を述ぶ

●間税分署開廳式祝辭

夫れ間税の稅務は之を直税に比すれば一層繁雜なるものにして隨つて其事務は最も多く町村人民に直接の關係を有せりとす之を以て其署の位置如何は常に人民の便宜如何に關係するのみならず亦た大に稅務の張弛如何に影響せずんばあらず本縣知事閣下は大に茲に見らるゝ所ありて間税分署を我村に設置せらる抑も我村は本郡の中央に位置し郡衙警察署等も接近するを以て間税分署を我村に設置されたるは其處置の宜きを得たるものと謂ふべく本日其開廳式を舉らるゝに依り予は村民一同に代り聊か祝辭を述ぶ

●市役所新築竣工式祝辞

本市役所の新築工事を竣り、今茲に其式を行ふ、而して其新築費と敷地とは、有志市民の寄附に係り、規畫經營は亦た職員及委員諸君の幹施せられたる所に係る、是れ殊に嘉嘆すべき事あり、且夫れ新築廳舎の構造たる、自治制を運行するに適するを旨として、市會議事堂を接近せしめ、受附掛を置かず、市民直接に主務の各課に到りて、要件を處辨するに適當ある構造なれば、其宜きを得たるものなること、何ぞ多言を待て之を知らんや、思ふに本市は此市役所ありて、以て自治の權義を保護し、市民の幸福を増進せることを得べし、今竣工式の祝辭に充る爲めに、余が所懐を述ぶと云爾。

●區役所開廳式祝辞

本村の村域廣濶にして、施政に便ならざるものあるを以て、區を三個に分ち、何區役所を我大字に設立し、本日其開廳の典を行ふ、蓋し今より本

村施政の周到を期圖することを得るや、知るべきなり、乃ち非言を記し、開廳の典を祝す。

●村會議事堂建築落成式祝辭

村會は村民の意見を代表する機關にして、一村の行政も亦た此代議機關たる、村會の指定する所を執行するものなり、我村未だ村會議事堂を設けず、暫く學校を以て之に充て來りしが、曩に議事堂建築の議を決定し、工を起して、今や落成を告げ、茲に其式を擧るの盛事を見る、何ぞ之を祝せざらんや。

◎兵事

●機動演習慰勞會祝辭

定期の機動演習、今や全く終局を告ぐ、其演習中諸子の能く軍務に勉勵し、演習に勞力を盡せしは、余の最も満足する所とす、願みるに從來屢々演習行軍ありしと雖も、特に今回の演習に於て、我隊が師團長閣下の褒

詞を得たるは、亦た我隊の名譽と謂ふべし、諸子宜しく益々精勵して、此名譽を汚損せられんことを、余は切に冀望に堪はず、本日は聊か諸子が演習中の勞を慰めんが爲めに粗酒を酌まんとす、請ふ諸子共に起立して、盃を擧げ、我 天皇陛下の萬歳を祝し奉らんことを、

● 徵兵慰勞會の告辭

本日我郡徵兵慰勞會の第四會を開くに當り、聊か一言を諸子の爲めに陳述せん、抑も男子生れて徵兵となり、國家干城の任に當るは、亦た是れ無上の光榮とす、諸子の曩は徵兵に當りて、軍隊に入るや、日夜兵務に精勵し、能く軍規を遵由し、一の過失なく、定規の年限を役了し、除隊に會い歸村されしは、亦た諸子の好面目にして、本官の頗る満足する所なり、依りて今茲に諸子の爲めに此會を開き、諸子が往日就役中の勞を慰めんと欲して、等差を立て金圓を贈る、諸子其れ之を領せよ、聊か鄙辭を陳述して以て、此會を開きし告辭とす、

● 某師團監督部下士官職務攻習會設立の祝辭

按するに一師團監督部は、司計經營事務及物件を管理する所にして、師團最重要の部局とす、吾等下士官は、即ち課長の命を受け、計算糧食被服建築陣營等の課務を整理するの任に當る者なれば、其職務の至難なること得て之を知るべきのみ、既に吾等の職務の至難なること、前に言ふが如しとすれば、吾等は亦た毎に公務の暇を以て之を攻習することを、努めさらんや、茲に於てか我同僚相識して、某師團監督部下士官職務攻習會を設立し、本日開會の典を擧ぐ、願ふに此會が向來吾等を資益する凡る幾許ぞや、其資益益し必ず多からん、吾等何ぞ此開會式を祝さらんや、

● 兵員召集事務演習慰勞會の告辭

治に居て亂を忘れざるは、古人の金言とす、業は勉むるに精しく慰むるに荒むとは、亦た是れ古人の金言なり、本官は此に深く考ふる所ありて、

大隊區司令官、同副官、監視區長、其本縣内務部兵事課長等の諸君に謀り、兵員召集事務演習を執行したるに、其師團、旅團及大隊區監視區(甲寺縣廳乙寺郡役所、警察署、醫員事務所、爲替方丙寺)召集地即ち名古屋練兵場(尋常小學校)十七個の町村役場旅舎十七等の配置、仮設標札、警報の揭示、非常脚夫の速度、驅員兵員の行程速度、仮定令狀の配布、送達、驅員兵員の應召、旅費の授受、醫員の診斷、警察官の督促、搜索、拘引、遞送、武器の給與、時間の規定内に能く之を處理し得て、毫も其措置を誤らざりしは、誠に本官の満足したる所なり、冀くは此席に在る所の諸君、兵員召集事務は國家の安危に關する、重要なものなることを忘れずして、此事務練磨の功果を、有事の日に利用せんことを、本日其慰勞會を此處に開くに當りて、特に之を諸君に告ぐ。

● 競射會發會式祝辭

我輩等軍人の最も精練せざる可らざるもの多しと雖も、其中に就き、特

に精練を要するものは、射的とす、抑も射的の秘術は、姿勢を正ふするにあり、姿勢正しからずして、命中するは、決して眞の命中に非ざるなり、故に姿勢を正ふし、發射命中を期する方法は、競射會の設けなかる可らざる所以なるを知る可きなり、今や我輩等有志の者、茲に競射會を設け、其發會式を行ふ、豈に大に前途に望む所なかるべけんや、乃ち之を祝す

● 滿期除隊袂別宴會の告辭

滿期除隊袂別の宴會を此所に開き、余、諸店と別盃を酌んと欲する前に當りて、聊か余の諸君に告辭すべき事とあり、顧みれば、吾人が初め兵役に就きて、第十九聯隊第一大隊の第一中隊に在るや、武伎精練品行最良を以て、令聞を博ふしたるの實に、吾人の名譽にして、此名譽の各自郷里に歸りて、父兄に聞かしめ、大に誇る何ぞ之が毀損するが如きことを行ふて可ならんや、然らば則ち吾人の今滿期除隊となりて、郷里に歸るも亦た尙ほ軍隊に在る時の如き規律ある心を以て、嚴格ある行ひを爲

し以て在役中に得たる名譽を毀損することなく、又國家有事の日に
速に召集に應じて報國殉忠の事に衝らんことを期せざる可らず是れ
余は諸君と共に今より後ち遵守踐行すべき要事ありと信じて之を告
辭と爲す。

◎裁判登記警察監獄

●某地方裁判所開廳式祝辭

明治廿四年十月一日某地方裁判所新築工事落成し、乃ち其開廳式を舉
がる不肖も亦た本村會議員の任に在るを以て、此式場に臨むを得、實に
林舞の至りに堪へず、依りて一言の祝辭を述べんとす。按ずるに裁判所は
人民相互に權義に關する紛紜邪正を審判し、犯罪を糾問し、處刑を宣告
する所なるが故に、其廳舎の結構規模、宜しきを得ると否とは、大に裁判
の尊嚴に關せり。今此新築の廳舎は、規模宏大にして、輪奐たる法律及壯
觀は能く法衙たるの尊嚴を發揮するに足れるを信ず、而して此の如き

尊嚴ある法衙の築造を、本村に見るは、亦た以て本村の光彩を添るに足
る、依りて不肖謹みて開廳式を祝す。

●執達吏役場始業式祝辭

今茲に某君執達吏となり、其役場を開き、始業式を擧ぐる、何ぞ之を祝
せざるを得んや、抑も執達吏は法律に従ひ、訴訟に關する書類を送達し、
裁判を執行するの任に膺る者なれば、其官民に便利を與ふるを、實に
多しとす。然らば則ち某君の此任に膺り、其役場を我村に設置せられた
るは、予の最も雀躍する所とす。故に此言を以て祝詞に充つ。

●登記所開廳式祝辭

吾人の財産所有を確認し、又物件の賣買讓與質入書入等を認可して以
て、吾人の權義を規畫擔保するものは、則ち登記所とす。從來我某登記所
は某郡衙内の一室を以て、之に充てたりしも、漸次登記事務の頻繁に趣
くに從ひ、大に狹隘を感ずるより、更に郡衙構内に一の登記廳舎を新築

し工事全く成りて、本日其開應式を擧られ余の如きも村長の資格を以て、此所に列するを得るは亦た是れ無限の榮譽なり、惟ふに此新築廳舎の壯麗は、我邦法律進歩の反射ならんか、乃ち之を祝辭と爲す。

● 巡査駐在所新築落成式祝辭

警邏巡察は警察の主務たり、飛耳張目は巡査の職務たり、然らば則ち町村に巡査を配置し、駐在所を設置するは警察の功用を期圖し、巡査の耳目を四張するに欠く可らざるものに非ずや、我村民此に見る所あり、官に請ふて、經費を寄附し、駐在所新築の工事を起す、既に久し、今や落成を告げ、本日を卜して、其式を擧ぐ、按ずるに向後、我村民の福利を保護する、此駐在所にあらんこと、得て之を信ず可きあり、何ぞ欣然たらざらんや、不肖村會議員の任に在るに依り、今日の盛儀に與かるを得、之を以て茲に祝辭を述ぶ。

● 警察署始業式祝辭

夫れ警察の趣意たる、人民の凶害を豫防し、國家の治安を維持するにあり、法律命令を施行するを監視するが如きは、亦た以て警察權が國家統治權の砥柱となりて、國安を保護するに力あることを知るに足らんか、然らば、則ち警察署の結構、体裁、備小陋、狹なれば、警察權の神聖あることを知らしむること能はざるは、敢て論を俟たず、而して此款は、我村の警察署も亦た之を免かるゝことを得さりしに、昨年九月新築の工事を興して、今や漸く竣工し、茲に始業式を行はるゝに依り、余は、我村寄附金者總代として、恭しく祝辭を述ぶ、惟ふに、此新築の規模、体裁、燦爛として、光彩を放つを見れば、今より後、能く警察權の神聖を、人民に知らしむるを得るや、必せり、欣喜の餘り、叩りに、鄙言を以て之を祝す。

● 巡査教習所卒業証書授與式答辭

巡査教習所は、巡査に警察上の學理及實務を攻究演習せしむるを目的として、設立し、地方警察に必要のものなり、吾等本所に在り、修業の後ち

則本日(はんにち)を以て(もつて)訓授官(くんじゆくわん)より卒業証書(そつぎやうしよ)を授與(じゆ)され、且つ(かつ)慰勉(ゐんべん)なる論告(ろんこ)を賜(たま)る、我等(われら)等(ら)に慶賀(けいが)に堪(た)へず、惟(ただ)ふに警察(けいさつ)は國家(こくか)人民(じんみん)の利福(りふく)を保護(ほご)するにあり、而(しか)して其方針(そのほうしん)の向(む)ふ所(ところ)は千態萬狀(せんたいばんじやう)變化(へんか)の窮(きゆう)まりなきものあり、故(ゆ)に深く學理(がくり)を攷(か)へて、之(これ)を實務(じつむ)に施用(しゆしん)せざんば、安んぞ文明(ぶんめい)の警察(けいさつ)たる功果(こうくわ)を、國家(こくか)人民(じんみん)に與(あた)ふるを得(え)んや、吾等(われら)幸(さい)ふしと學理(がくり)と實務(じつむ)と、資用(しゆいよう)するの方法(はうほう)を知る(しる)るを、得(え)たれば、是(こゝ)れより職務(しよくむ)を執(と)るに當(あた)りても、亦(また)本所(ほんじよ)に於(お)て修業(しゆぎやう)せし成績(せいせき)を實際(じつじ)に舉(あ)げし以(もつて)、訓授官(くんじゆくわん)の慈勉(じべん)なる論告(ろんこ)に報(こた)へんとす、乃(すなは)ち答辭(たうじ)を呈(てい)す、

●監獄署新築落成式祝辭

本日(はんにち)某監獄署(かんとくじよ)新築落成式(しんじゆくたうじやくしき)を舉(あ)げられ、余(あな)れ亦(また)某郡(かきぐん)參事會員(さんじしあひん)の資格(しかり)を有(あ)するを以(もつて)、縣知事(けんちじ)書記官(しきくわん)閣下(かくげ)其他(か)地方公職(ちほうこうしやく)を帶(た)ぶる各位(かくわい)が、臨場(りんばう)せられし席末(せきまつ)に列(れつ)するを得(え)たるは、雀躍(せつやく)の至(いた)りに堪(た)へず、謹(つと)みて今(いま)新築(しんじゆく)の監獄署(かんとくじよ)の体裁(たいがい)を視(み)るに、連薨(れんじやう)巍峨(ゑいゑ)空(くう)に聳(そび)へ、白壁(びやくへき)丹漆(たんしやく)燦(さん)として麗(うる)かなり、是(こゝ)れ

れ監獄(かんとく)の威嚴(ゐげん)を高(たか)ふし、又(また)獄囚(ごくしゆ)の衛生(ゑいせい)を資(たす)け、其他(か)治獄(ちやく)に樞要(しゆいよう)の功果(こうくわ)あること、知(し)るべきのみ、依(よ)りて新築落成式(しんじゆくたうじやくしき)を欽祝(きんしゆ)す、

●獄務演習會の答辭

我典獄閣下(わがてんごくかくげ)曩(な)に部下(か)の監守長(かんとしやう)監守書記(かんとしき)等に命(めい)じて、獄務演習會(ごくむえんじゆくわい)を行(な)しめられ、閣下(かくげ)親(か)しく部下(か)諸員(しよゐん)執務(しやくむ)の當否(たうひ)を查察(さつさつ)審判(しんぱん)して、逐一(しゆじつ)精細(せいさい)の批評(ひひやう)を下(くだ)し以(もつて)部下(か)諸員(しよゐん)の注意(ちゆうい)を促(うなが)されしは、余(あな)等の深(こゝろ)く謝(しや)する所(ところ)なり、蓋(け)し監人(かんにん)病變(びやうへん)死取(しと)扱(かく)手續(しじゆ)囚徒(しゆと)逃走(たうそう)捕縛(ほくわく)手續(しじゆ)囚人(しゆじん)入出(にゅうしゅつ)獄取(ごくと)扱(かく)手續(しじゆ)書信(しよしん)接見(けつけん)差入(さいに)物の處理(しゆり)經費(けいぎ)及(および)作業(かぎぎやう)工錢(こうせん)の収支(しゆし)需用(じゆいよう)品購(ひんかう)求(もと)め手續(しじゆ)等を、仮(か)定(てい)演習(えんじゆ)するは、獄吏(ごくし)たる者(もの)に必要(ひつやう)の事(こと)にして、治獄(ちやく)の要(いよう)は何者(なにもの)か之(これ)に如(ごと)しんや、然(しか)らば則(すなは)ち我典獄閣下(わがてんごくかくげ)の部下(か)諸員(しよゐん)を獎勵(かうれい)して、此(こゝ)演習會(えんじゆくわい)を行(な)しめられたる厚意(こうい)は、余(あな)等の感佩(かんぱい)する所(ところ)にして、余(あな)等(ら)亦(また)此(こゝ)演習(えんじゆ)の功(こう)に依(よ)り獄務(ごくむ)を益(えき)々(じやく)々(じやく)鍊磨(れんま)せば、亦(また)以(もつて)我典獄閣下(わがてんごくかくげ)の厚意(こうい)に報(こた)へ、獄吏(ごくし)の面目(めんもく)を世(よ)に撥揚(はくやう)することを得(え)べしと信(しん)ず、聊(聊)か茲(こゝ)に監守總代(かんとしじゆうだい)として、答辭(たうじ)を

陳述す、

◎遞信交通

●郵便局開業式祝辞

人間の交際を親密にし、商業の取引を媒介し、國家の文化を増進し、一國の治安を保護するものは、實に郵便の特有の主義目的なり。郵便の一國人民に利益を興ふるの大なることを以て能く知るに足るべきのみ。顧みるに從來本村には郵便局の設けなく、唯た郵便書狀投入函ありしのみなれば、其集配は隣邑某村郵便局の監理する所に係り、其不便なること少なからざりしが、遞信省も亦た茲に見る所あり、今回本村に郵便局を設置さる、本村人民の便利を得ること今日より其大なることを知り得べきなり、本日其開業の盛典を舉られ、余も亦た村吏の資格を以て未席に列するを得たるに依り、之を祝辭と爲す

●電信局開業式祝辞

萬里遠隔の間と雖も、坐して瞬間に信を通じ、用件を處辨するは電信なり、嗚呼電信の功も亦た大なる哉、我町は農商工民を以て全町を充し、其中に就き商民を多しとす、而して其商民の電信を利用する者多きに拘らず、我町に電信局なきを以て、之を不便とするものと茲、一年久しかりしが、今や此に電信局を設け、本日を卜し開業式を舉らるゝの運に會ふ、我町商民の喜悅は勿論全町人民の便利を得べきこと、得て之を知るべきなり、不肖等電信局用地寄附せし廉を以て、此盛典を倍觀するの光榮を得る、何ぞ之を祝せざらんや、

●某燈臺建築落成式祝辞

交通航海の事業盛んなるに至れば、燈臺を潮流難險の要衝に建築して、以て船舶航海の安全を保護するの必要なるは、敢て多く言ふを須へず、我村民等茲に深く見る所あり、我村字何崎に一燈臺を建築す、抑も此燈臺なる粗造なる木造に過ぎずと雖も、其基礎より頂上点火まで高さ二

丈六尺燈火二百十五度半の弧線を照輝し、光達距離は十八海里に至り、位置は北緯卅七度卅分にして、東經百卅七度十九分に當る。若し夫れ此燈臺の功は、蓋し他日に之を期すべきなり、今や其落成式を行ふに當りて之を祝す。

●海員講習所始業式祝辭

海員講習所の設立を告げ、本日をも以て其始業の典を執行す。是れ我國海軍上の進歩として大に祝すべきの盛事なり。抑も海員たる者の講習すべきこと、一にして足らずと雖も、先づ萬國信號法及海路上の制規を知り、雲霧或は曇天の夜間、船舶の方向を指定する信號を知り、燈臺浮標其他海路の諸標識を知り、船舶の衝突及危険を避け、沈没を救ふの方法を知る等は、必ずしも海員講習所を設け、航海學を攻究せざる可らず。蓋し航海の頻繁は、國家文化の進歩に關し、航海の繁否は海員の伎術如何に由る。然らば則ち此海員講習所の設立なかる可んや、依りて本日の始

業式を祝す。

●何鐵道開通式祝辭

明治何年何月何日、某鐵道會社何地と何地間との鐵道建築の功を竣る。是に於て本日を卜し、以て開業の式を行ふ。聊か蕪辭を陳へ、以て之を祝す。抑も該社の創設は、何年何月に在りて、何地より何地に至る鐵道を布設し、以て大に國益を圖らんと欲す。實に美事と謂ふべし。而して此一線は何年何月を以て着手し、未だ二週年に至らざして、成功を告ぐ。是れ計畫の宜しきを得たると、工事の勉むるに精なりしと、職由す。夫れ海運陸輸、以て其利便を開き、百貨を交通し、物産を増殖し、衆庶をして其幸福を享ることを得さしむるものは、經世の要務にして、緩ふす可からざる所なり。而して今既に此の如し、某敢て國家の爲めに之を賀し、併せて該社將來の大成を企望すと云爾。

●商船學校始業式祝辭

夫れ交通貿易の繁榮は一國商船學の進歩に由る、一國商船學の進歩は、商船學校の振起する所に係る、然らば則ち今日に當りて商船學校の我國に無かる可らざることを得て之を知る可きのみ、是を以て此に商船學校を設立し、本日其始業式を行ふ、豈に國家の爲めに此學を祝せざらんや、而して此學校に於て商船學を修むる者、其所蓄を利用せば、交通貿易は是れより盛んに一國の繁榮は期して之を見るべきなり、今余は一言して此始業式を祝す。

◎議 會

●通常町會開會式祝辭

本日我町の通常町會を開會するに當り、特に一言して議員諸君に告ぐ可きことあり、何ぞや他なし、本年度の豫算案に記載する金額は、之を昨年度の豫算案に比すれば、殆んど其一割五歩餘の増加を見るに至りしこと、是れなり、然れども其増加は土木費と町有財産購入金との二項に

起因するものにて、此れ等の費用を要するは、我町が自主の權義を運行するに付き、實に止むを得ざるものなりとす、惟ふに議員諸君も亦た本案を提出するに至りし、事情を承認して可決せらる可しと信ず、故に開會式を擧るに當り、特に其事由を一言して以て祝辭に代ふ。

●臨時村會閉場式祝辭

本村自治上、使用料及特別税賦課法等の件に付き、急施を要するものありて、臨時村會を開きしに、今皆な議了して、茲に其閉場式を行ふに至る、蓋し此臨時村會の議了せしもの、能く本村の自治を鞏固にす可きこと必せり、之を以て祝辭と爲す。

●通常郡會開場式答辭

郡長閣下、主務の郡吏を率ひ親しく臨時して、本年度の通常郡會を開くのを、式を擧げ、殊に懇篤なる告諭を以てせらる、某等議員、豈に感激せざるを得んや、某等議員は、閣下の告諭を服膺し、固有事務と委任事務との限

界を審察し、官民の便宜と意向とを攷究し、以て下附せられたる議案を議了し、以て閣下に報告する所あらんとす、仍て不肖議員一同に代り、此答辭を述ぶ、

●臨時郡會開場式答辭

去る何日を以て、臨時郡會を開場せられてより、某等議員審議精論して、議事規則及傍聽人取締規則其他郡有財産處分の件等に關する議案を議決し、漸く茲に其閉場式を行ふを得るは、是れ誠に某等議員の慶賀する所なり、而して郡長閣下は、懇懇の告諭を以てせらる、唯た某等の議了したるもの、或は閣下の冀望を充すに足らざる所あらんことを憂ふ然れども、某等は郡民の意見を代表することを努むるは、忝々たる者なり、故に某等の議了せしもの、或は閣下の冀望に契はざるものあるも、亦た深く之を諒し、執行せられんことを敢て悃望に堪へず、予は以上に陳述するの言を以て、閣下の告諭に對するの答辭と爲す、

●通常縣會開會式答辭

維時明治何年何月何日、我縣知事閣下親臨して、通常縣會開會式を行はる、惟ふに縣會は、一縣の固有事務を處理するに當りて、縣民の思想を代表し、議定の職を掌るの機關なれば、則ち今回閣下より、下附せられたる議案も、成る可く一縣官民の計畫施設に、恰好せる議決を爲す所あらんとす、乃ち此事を此に陳述して、以て、之を答辭とす、

●臨時縣會閉場式答辭

今茲に臨時縣會の閉場式を擧るに當りて、縣知事閣下より、叮嚀なる告辭を忝ふす、其厚意は某等深く感謝す、顧みれば、此臨時縣會の開會は、日數三日間に過ぎずと雖も、亦た其議事は皆本縣人民に一大利害休戚に關するものならざるは、莫し、故に某等最も苦心し、議事苟もせざりし存意ありしも、其議定せし費額の點に於ては、或は閣下の意見と背馳すること無きを保せず、是れ深く某等の閣下に諒察を乞はざるを得ざる

所とす拙者は今議員總代として此答辭を述ぶ

●土地収用法協議會閉場式祝辭

官民の權義を保護するに重要なるものは唯た土地収用法なりとす我
 村及某々村地内凡そ何十何町何反何畝歩は各町村公共の利益に供せ
 んが爲めに何河の流水を引くの河線とするに決し其収用を政府に請
 へ裁可を得たるに依り協議會を開くの必要を生じ縣知事閣下に上申
 し縣官の派出を請ひしに某縣官此協議も出張せられて工事の仕様及
 収用すべき土地の補償金額等悉く協議を遂げ了りて此に閉場式を執
 行することを得るは豈に林舞の至りに非ずや蓋し本會協議の結果は
 如何ある成り行きに至るや否やは之を豫定すべからずと雖も今此に
 協議會を結了したるは本件も關し一段の成果を見るを得たりと謂ふ
 も亦た可なり依て不肖蕪文を顯みず此閉場式を祝す

◎増補

●製茶地方税特免祝辭

(農林)

惟ふに製茶は本邦輸出品の最大位を占め其盛衰の關係する所獨り一
 郡一縣に止らず廣く全國の經濟に影響する者なれば夙に政府は準則
 を布き後又規則を發せられ特に保護干渉を與へらる蓋し他に其比を
 見ざるなり如此して以て粗製濫賣の弊を防ぎ改良進歩に汲々たりと
 雖も爲に茶業者は其經費の負擔固より輕からざるなり然り而して近
 來供給の需用を超過したるより製茶の價格年を逐て低落に起き今や
 得失相償はず將に茶園の荒蕪に歸し茶樹の採伐に遇ふ所往々之あり
 至る處茶業の衰運を説かざる者亦く行く處として業者の悲聲を聞か
 ざるなきに至れり嗚呼嘆ず可く又憂ふ可きの時なり本縣從來製茶の
 税を免ぜり然に過る明治何年度より縣會は之を課することを決議せ
 られたり蓋し其意税源を廣むるに在りて又焉んぞ製茶を以て保護を
 要せずとするに非ざるあきを得んや然れども製茶運命の危殆に迫る

既に前述の如し況んや之に加ふるに地方税の賦課を以てせば、収利愈減少し負擔益々重を加ふ、當業者何を以てか能く之に耐ん、製茶の衰へざるを欲すと雖も、豈夫れ得べけんや、夫れ製茶は本縣の重要物産たるのみならず、實に我が日本國の最大重要物産なり、故に製茶の隆替は獨り本縣に關するのみならず、日本全國の盛衰に關するものあれば、識者の最も心を用ゆる所、況んや地方の休戚を負ひ、下民の代表者たるものに於てをや、大凡民業盛衰の來るや、時運の然らしむる所なれども、施政の得失又必ず此の間に與かる、誠此時に當り、姑く地方税の賦課を蠲き、休養振作の餘地を與ふる、則ち時に處するの宜しき應さに、縣下當業者の望を縣會に屬する所以なり、當時茶業の困頓を察し、一般製茶若くは紅茶及び番茶(川柳等)課税の特免を、縣會の議事に付せられんことを冀望したる、其事空じからず、地方税賦課の特免を得るに至れり、何ぞ大に祝する所を、からん、則ち茲に其賀宴を張るに臨みて、此祝辭を述べ

●經濟攻習會發會式祝辭 (前卷)

社會の文化進歩して、人事複雜を極むる現今の時勢に當りては、到底舊來の經驗的智識のみに依頼して、事を處すること能はず、必ずや學理に依りて適當の解剖を行ふ所なかる可らず、學理應用の道を謀ること、蓋し今日の急務にあらざらん、且夫れ經濟商業社交等に於ける問題は、其關係最も複雜にして、學理の應用を煩つこと、焉れより大なるは莫る可し、顧みるに、我某地たる商業を以て立ち、工業亦た日一日より隆盛なるの勢あり、今や政治上の團體若くは實業家の集合体は、各所に起り、各々社會の進歩に資する所なしとせされども、獨り憾らくは、未だ學理應用の爲めに設けたる所の團體あるを見ず、是れ豈に某地の一大缺典ならずや、然れども吾輩が今自ら其不敏を忘れて、茲に經濟攻習會を設くるもの、必しも某地の爲めに此缺典を補ふと云ふにあらず、必平生篤志者相會して互に懇親を結ぶの傍ら、各自の思ふ所を述べて、智識交換の便

に供し尙ほ時々有名の大家を聘して其高説を叩き以て聊か自から其志心に資補する所あらんと欲するのみ且重要な問題起るに際しては時に委員を設け之が調査に従事し以て事理應用の道を謀り時に當局者若くは當業者の参考となるを得ば實に亦た吾輩の至幸なり今日其發會式を擧るに際し一言して祝辭と爲す

●警察協議會發會式祝辭

按ずるに警察官は政權の鞏固に全力を盡さざる可らず而して政治上の事將來益々多事となり政黨の競争に議員の競争に云ふ可らざる紛擾を極む可きは今日より之を豫想するを得べし既に歐洲各國にても政治家の頭惱を痛むるは此點にあり庶無黨社會黨其他の諸政黨は常よ時の政府と反對に立ち政權の統一を妨害すること轉た大なり去ながら未だ之が爲め政治の運轉を止むるに至らざるに則ち警察官の能く中央政府と一体となりて治安に力を盡すに非ざるはあし此際我警

察官も宜しく政黨以外に立て政黨員の舉動に注目し苟くも時の治安を妨害せんとするものは行政權を以て之に當らざるべからず乃ち警察官は今日政黨の取締と如何すべきや衆議院府縣會町村會等の議員撰舉紛議に如何なる措置を行ふべきや演說會の取締法に如何すべきや等の意見を一定し置度きものなり要するに行政警察の範圍を擴張すること己を得ざることなり今發會式を行ふに當り此れを祝辭と爲す

●某君を祭るの文 (八事)

維明治何年何月何日某君病で卒せらる越て何日何山の東麓何谷の兆域に葬る不肖謹で君の靈に告ぐ君其れ知るあらば幸に此哀情を諒せよ嗚呼哀哉君性寛厚宏懷衆を容れ善を嘉し才を愛し以て不能を矜む言行恭謹悉く至誠に發す事を執る虔肅にして敢て逸豫することなし民庶恩に浴し堵に安んずる多年終食の間も仁を違るなく造次轉沛必

ず是に於てする者に非れば、曷ぞ能く此の如くならん、嗚呼哀哉市民歎
 仰皆其徳を慕ひ、赤子の慈母と何ぞ異ならん、今や幽明路阻り復視る可
 からず、昊天無情胡爲そ之を奪ふの速なる、彼の松柏の雪を負ひ凋ま
 して折るゝものなり、然りと雖も吾人受くる所の徳、何山の峯頭と共に
 永く仰ぎ久しく存して朽ちざれば、則ち死する在て而して死せざるも
 の非ざるか、山巔雲凍て溪樹雪白く、林畔風寒して棲鳥驚き啼く、悲慘悽
 惻衣襟空く沾ふ、嗚呼哀哉尙く饗けよ

同盟銀行報告會祝辭 (商業)

本年上半季間市内金融の状況は、昨年以來諸商工業の萎靡不振なりし
 と、又諸株式及び地所賣買等に係り、要する處の融通大に減却したる等
 の諸因に依り、概して緩慢と云ふの外なし、爰に其景況を叙すれば一月
 中は先づ引緩みの方にて、至極平穩無事に經過せしが、二月中旬頃より
 へ恰も國稅送納の委節に際會せしと、又日本鐵道會社第四回株金拂ひ

込等の爲め、貨幣の需用俄に増多ありし折、折全國各國庫金検査の學あ
 るべしとの事ありたれば、夫是の準備に注意する者も在りて、一時は隨
 分逼迫を告げたりしが、其下旬には幾分か落付三月初旬には一層銀裕
 を生じたりと雖も、未だ國稅送納の殘餘もあり、且日本銀行に於て、貸附
 及割引等の利子歩合を引上むたれば、一時前途の金融如何を懸念せし
 ものなきにしもあざりしが、實際には差したる影響なく、漸次引緩の
 傾向に歸着せり、加之横濱生系の賣行益々活潑にして、便船毎に相應の
 輸出ありしと、又四月中は七分金録公債多額の元金償還の舉ありたる
 等の諸因により、益々寛弛に赴き、尋て又五六月の交は諸公債証書利子
 の下渡もありて、民間に散在する貨幣も亦以て甚しとせざれば、一般の
 金融頗る緩慢を極め、銀行者は其裕金を運用に苦しむが如き狀況を呈
 せり、本年一月より六月まで、同盟銀行貸附金利高、低調は、別紙報告書
 に詳述したれば、更に煩はしく茲に陳せず、唯だ市内金融狀況の大要を

述べ以て本日我全盟銀行報告書の祝辭に代ふ

● 學校衛生會發會式祝辭

夫れ學校衛生上主として攻究すべきものは、眠食成長勤學の度摸範教室、通氣位置等其他特に机腰掛の項の如き其構造の當を得ざるより、近視眼脊髓彎曲等の諸病を發作するものとし、精細よ身長に相當する構造如何等是れなり、今や學校衛生學校建築の如き、我文部大臣の切に苦慮せられ大に世の注意を促さるゝに際すれば、教育に關係する吾人が本會を設置するは亦た是れ其必要に迫られたるものなり、發會式を舉るに付き茲に祝辭を述ぶ。

● 某私塾生徒卒業証書授與式祝辭

回顧すれば明治何年何月本館を創設したる旨趣は、我郷黨の子弟をして己れ學力と長所とを反省して前途の方針を確定する事一家の生産學資の供給するや否を省みる事父母の發一家の齋修を省みる事田園

の耕すべく實業の取るべき事あるや否を省みる事父祖の家業を繼述し、家聲を墜さゝるの道を省みる事等の條件を反省し、立志堅確百折不撓の精神を一定し、然る後初めて他邦に修學するの望を興すべし、然り而して文學政治法律等の正則を履む者は、高等中學校に就き順序大學に進み、一課の學を修むるに止まらんと欲する者は、初めより方針を定め一意勇進、以て成業を期するの志操を立てしむるにあり、とす、而して本館創立爾來日尙は淺く、加ふるに土地偏隅にして、百事不具の歎を免れざるも、館員皆一心協力拮据の實効と、生徒各自加致々刻苦精勵せし力により爰に始めて卒業生を出すに至りたるは、手が最も喜悅に堪へざる所なり、卒業生諸子よ、諸子は既に尋常中學の課程を卒せたり、今より將に或は高等の學を修め、或は實業に従ふ所あらんとす、各自夫れ苟も小成に安んぜず、自今一層奮發他日一身を立て、父母の名を顯揚するに至らば、則ち予が國家の爲めに斯の館を興し、英才を育せんと欲し

たる積年の望を達するを得べく其満足如何をや夫れ心に銘して勉めよや茲に一言を陳べて以て祝規とす

●藥局秤量器製造始業式祝辭 (備告)

某君曩に發布せられたる法律第十號及び内務省令第四號藥品取扱規則等の旨趣に基き藥局秤量器を發明せらる抑も此器は我國藥局の須由も欲く可らざる要俱にして爰に完全の適用を得たり然るを從來我國藥局に用ひ來る秤量を見るに或は過大に過ぎ未だ完全と云ふ可らず夫れ人命貴重なるは論を俟たずと雖も弱脆朝露も畜ならず一たび病發に際し之を必死に救ふものは獨り醫藥あるのみ然れども醫藥其量を誤るときは却て此を死地に陥る懼れ無き克はず之を要するに秤量其度に適するを以て最良とす某君の此を憂る久し苦心焦慮遂に此の完全なる秤量器を發明されしは眞に濟世救人の偉功ありと謂ふべし今や此始業式を行はるに遇ふ非言を述べて祝賀す

●貯蓄銀行開業式祝詞

邦國の開明に趨く其道一ならずと雖も亦富饒を致すに非んば決して能はざるなり而して一國の富饒は一家に基く一家の富饒は一人に根す要するに其術たる惟儉勤に在るのみ今夫れ人の世に生息するは農なり工なり將た商賈なり職業にあらざるはなし各人苟も能く欲を制して用を節し業を勤めて功を積ば則ち富饒得て致すべし是に於て乎餘澤一家を潤はし遂に一國に及ぶは固より其所なり畜これのみならず其身を業務に委するの専らなるや經驗由て以て富み智識由て以て長ず人々皆能く斯の如し則ち其の國家厚生利用の政に益する幾何なるを知らず竟に開明の域に進むを得る者立て竣つべきなり且夫れ福倚伏は人生免れざるの數となる故に今日康強以て明日を期しかたく今年の安樂は來年を保する能はず是平日餘財を蓄へ以て不慮に備ふを要する所以なり彼蜂蟻の微も尙禦冬の計をなすを知る人よ於て

○藥局秤量器製造始業式祝辭 ○貯蓄銀行開業式祝詞

昆蟲に劣るべけんや今や貯蓄銀行成り専らこの意に因り民庶の益を計らんとす實に邦家の美譽なり開業式に臨み之を以て祝詞に換ゆ

●菜園開園式祝詞

某君菜樹の栽培に精し今茲新に菜樹栽培に可なる地を相し一區を設け菜園を開く栽培するところは舶載精好の種屬にして果實の外また苗木販賣をなすといふ維年月日園成りて開園の式を行ひ園遊の會を催ふす芳奇佳果宛として仙家の如く園亭園棚甚だ塵間のものにあらず生亦其式に臨み一言の祝詞なくして止んや抑も本邦古來菜樹を栽培するもの少しとせず然れども之を栽培をなすもの多くは村居閑居の暇あるもの若くは老翁殘年の樂となさんが爲めにして其目的たる只に庭園の佳景を添へんがためか或は小兒の玩食品を生せんと欲するに止まり之か栽培をなして利益を得て一家の經濟を助けんとするもの甚だ稀なり多くは庭前の空地を求めて一二樹を栽へ之か培

養を爲さずこに肥料を與へず猥りに枝條を剪りて樹形を作り或は自然に放任して顧みず而して秋季多少の果實を得るを以て満足せり是れ本邦人は米穀野菜を以て常食とし果實の如きは只に常食中に加へざるのみならず老人小兒の玩食品となすに止め其効益を知らざれば斯く菜樹栽培に意を注がざるは敢て咎むべきに非ず本邦氣候溫和にして菜樹栽培に適すれども今にいたりて其美を海外に誇るに足るものは柿蜜柑等の一二種に止まり其他は皆品位遠く外國産に及ばざるは之れ其栽培に意を注がざるの致す所にして又敢て怪しむに足らざるあり夫れ果實の味美にして胃に益する製菓にまざるものあり之か栽培宣しきを得ば收利もまた頗る多し況んや肉食の風漸く盛んならば之に伴ふて果食のまた世に行なはるも勿論なりこれ西人が酷嗜する所以にして我國の如きも日に益々その需要を加ふべきなり宜しく今日に於て之が栽培に力をつくさば其利を收むるは眼前に在りと

す且つ夫れ菓實栽培ほど清潔にして簡易なるはなし養鶏養豚の比にあらざるなり而してその利は之に勝り失敗亦少ありし勞費すくなくして利益多く且つ春風一度渡れば千紫萬紅を圃にし薫風傲にふけば翠葉絲陰の清涼なるを見る戀を散じ目を喜ばし身體に益する亦妙しとせず眞に仙家の至樂なるかは某君の如き此至樂至福を占む羨ましからずとすべからず生他日亦た買山の錢を得ば君に従つて此仙法を細かに問んとす之を祝詞とす

○諸家雜纂

●横濱商業會議所開業の祝詞

原 善三郎

方今萬國交親互市の道到る所開通せざるはなし夫れ利に公私あり力に離合あり利を公にすれば正大にして力を合すれば堅實なり之れ會同通義の事に益ある所以あるか吾曹多年互市の際萬國の景況を見聞し商賣の方法を知る是に於て各商分離して法を恣にするの利なくし

て會同通義の益あるを覺知し衆心歸を一にし益々公利の計るべきを思惟す茲に官准を得て當會議所設立の舉あり之れ實に交明商家たるの名に耻ぢざるなり乃ち其法を編し其の所を設け本日明治十三年五月二十五日を以て開業の典を擧ぐるに至りしは獨り我が港のみならず全國民の爲めに賀すべきの至りならんや而して余又た席末を汚すの榮を享く爾后諸君と俱に其志を挫かず衆智を衆め各法を通じ私を去り公に就き恂々として審議討論以て公益を興さんことを深く冀望す果して諸君の篤志勉力宜しからず當會議所と俱に千古不朽の隆昌を極めん此の盛典に臨みて聊か燕辭を述べて以て之を祝す

●某米穀取引所開業式を祝す

某米穀取引所は本日をして以て茲に開業式を行ふ此時に當り幸に貴顯紳士紳商諸君の光臨を辱ふす光榮何る之に若かんや抑取引所の起るや一朝一夕の事にあらず富饒なる地味と精良なる國

○諸家雜纂○横濱商業會議所開業の祝詞○某米穀取引所開業式を祝す

産と敏活なる商業家を曩きに取引所の素因を成し近頃は有志者刻苦
 經營以て今日あるを致す先覺の精誠吾輩の肝に銘じて忘れざる所に
 して又祝賀に堪ざる所なり夫れ一場の競争活潑萬金の輸贏を快し運
 用の妙奇正交々發して其間需用供給を迅速にし市價の平準を致す是
 れ取引所の本領にして經濟の原理商業の蘊奥存する所なり吾輩完全
 なる法令と懇篤なる訓諭とを恪守して以て取引所の隆盛と商業の繁
 榮を圖ることを期す天下の我取引所に望みを屬すること取引所の當
 に務むべきもの俱に是重大吾輩夙夜に以て焦心報するなくんはあら
 す本日開業式に際し聊か一言を述へて祝詞とす

●學海指針社の發刊を祝す

川田 颯江

學海渺々水天と接し世風驟々人日に新に趨ふ誰か同志の俊秀を誘ふ
 て同く斯文の淵源を探らん萬卷を聚め來りて以て貨物を充て三科を

指定して而して針盤を執る中を古今の聚説に折り道を内外の諸賢に
 問ふ順風の佳候に逢ふを知り解纜の吉辰を卜するを喜ぶ爰に來賓に
 従つて末席に連り乃ち社主を賀するに詹言を以てす言ふ限ある何ぞ
 能く吾が意を盡さん海に量なし庶幾くは衆人を益せん

●電信開業式祝辭

福澤 諭吉

近年諸般の發明多しと雖其大發明中の最大なる者は電信の右に出る
 者なし何を以て之を云ふ發明の功最大にして其費用最少なければな
 り蒸氣機關甚た便利なり瓦斯も亦然り然りと雖其便利と費用とは比
 較するときは電信に向ふては三舍を讓るへい電信局の年報に據れば
 我が日本に電信を用ひたるは明治二年八月横濱の燈臺寮より裁判所
 に至るまで七町の線を權輿とし同年十二月には東京築地の海關より
 横濱の裁判所へ八里一丁を架し同三年八月には神戸大阪の間に十里
 を架し東京長崎の線は明治六年に落成し函館への通線は七年十月に

落成す其前後東京大阪の市中には縦横に支線を張りて創業以來明治八年六月三十一日に至るまで線の長さを總計するに千七百六十三里八年七月より九年六月に至るまで一週年音信の數ハ六十一萬三千なりと云ふ今此の電信の功を尋ねれば單に千七百里の路程を縮少して無に歸せしめたりと云ふへし或は日本人の身軀を延大して千七百里の各地に跨らしめたりと云ふへし況や海外諸國との通線あるに於てをや啻に日本のみならず全世界を縮少して之を掌中に弄ぶと云ふも可ならん電信は國の神經にして中央の本局は腦の如く各所の分局は神經叢の如く日本國中更に此の神經の系統を始造したる者なれば百般の人事に顯敏を増すは無論神經の顯敏なるが爲めに形軀も共に活潑力を得るに至れり其功の大なる瓦斯蒸氣等に優るあるも讓る所あるへからざるあり又其費用如何を論するに創業より明治九年六月三十一日まで費額の共計二百二十七萬一千圓にして收額四十一萬五千

圓なり之を他の工業に比して費額決して多からず收額亦少からず又明治八年一月より九年六月に至るの間には新に線を架したることも少くして八年一月より六ヶ月間の音信數と八年七月より九年六月に至る一年間の音信數を半折したるものに比較すれば音信の數は増すこと凡そ十萬數にして收金凡そ一萬二千圓を増したり人民の次第に電信を利用すること以て知るへし其之を用ること愈盛なれば局の收額も次第に増すこと亦以て知るへし電信の費用最も少きものと云ふへきなり今を去ること十三年慶應寅の年諭吉が著したる西洋事情に電信効用の大略を擧げ西洋諸國には電信なる一種の奇機ありて遠國に音信を通じ其神速なること千百里とても瞬く隙に通するを記したる其時には世間にも之を信する者なく著者も亦敢て直に之を日本に施さんとするの意あるに非ず唯彼の國にて目撃したるふを記して世上に示し百歳の後には又之を實地に用ふるともあらんかと思

ふまでにて迎も生涯の中日本に於て電信の實物を見んなどは夢にも想像せざりしことなるに豈計らんや十三年の今日に至りて親しく此盛會に陪するを得たるは諒吉が心に於て恰も百三十年の想像を十年の實に見るが如し人事の進歩實に驚くに堪へたり既往斯の如し將來推して知るへ一感喜の余鄙辭を呈して謹んで祝す

●奉賀 車駕還京文

成島 柳北

維明治十一年十一月九日北巡の典全く畢り 車駕東京に還る百僚肅々として盡く宮門に拜迎し萬姓欣々として争て道路に歡呼す眇たる我朝野新聞社の記者亦是れ率土の民にして王臣たるを知る斯の盛時に遭遇し以て德澤に沐浴すれば豈一言の丹誠を表して而して聖化を頌する莫かるへけんや況や我が社員横瀬文彦は恭く鹵簿の末に扈從し千里跋涉親しく大典を瞻仰するを得たるそや我が記者の榮亦極ると謂ふ可し柳北等誠懽喜頓首々々恭く惟るに 皇帝陛下 列聖の

偉績を承け中興の昌運に膺り仁恩四海に溢れ威武八埏に耀く積年の宿弊を瞬頃を除き絶大の良圖を後昆に垂る是に於てか慶雲興り和氣流る百穀歲に登り衆瑞時に見はる猶且つ宮闈に寧息せすして群黎の艱難を憂慮し屢ば爲めに山壑を攀躓して各土の風俗を觀察す既に北陸を経て更よ東海に臨み老を憫み幼を恤み孝を旌し義を表す古聖王と雖も其の徳化何を以てか之に軼ぎん新史冊に於て其の光輝必ず欽す可き者有らん今や龍輦東に旋りて八駿爰に息ひ玉座舊に復して九重更に尊し於戲盛なる哉柳北等誠懽喜頓首々々又恭しく惟るに古より創業の君守成の主各其道を殊に其圖を異にす而して我が獻聖なる 皇帝陛下は實に創業の功を竣て以て守成の徳を修る者なり其聖慮を焦し聖體を勞する豈其れ易かならんや全國の臣民誰れか之が爲めに感泣して洪恩の萬一に報するを思はざる者有らんや夫れ往載の東巡既に奥羽の遐陬を窮め本年の北行又加越の僻境に及ぶ其の民

情土俗親しく觀覽を歴たり然らば則今日以往一詔一令以て治教を全國に播くに於て必ず應に億萬蒼生の爲めに其好む所に從ひ其惡む所を去り大に國家の憲章を定めて以て守成の偉業を固からしむる者有る可を信ず柳北等無涯の天恩を荷ひ幸ひに生を京城の下に儉めり且つ叨りに操觚者の未列に在るを以て斯の祥辰に會ふて黙々以て已む可からざる者有り僭越の罪固より逃る可らざるを知ると雖も抃舞喜躍の情自から過むる能はず恭しく一篇の頌文を作り之を闕下に捧ぐるに至ては則其狂妄に渉るを憚り謹て我が新聞紙に陳して以て微衷を表す

●駒場農學校開校祝詞 大久保利通

茲に農學校建築竣を奏す 龍駕忝く親臨し開校の典を擧げ給ふ本校の光榮何を以て之に加へん恭く惟みるに本邦の農事に於ける未だ専ら其學を講ずるを聞かず 陛下聰明睿哲農學の急務なるを知めし給

ひ此校を創建し博く萬國の實驗を徴し精く庶物の質性を究め大に富民殖産の道を興隆せしめ給ふは實に生民の大幸にして國家の洪福と謂ふへきなり臣利通謹みて盛旨を奉し敢て其事に従ふ豈感激勉せざるへけんや」猗歟我邦の農事をして駸々乎として日よ開け月に進み物産は益繁殖に赴き民生は益富饒に至らしめんとは其れ今日より始まらん明治十四年一月四日内務卿大久保利通謹て祝詞を奏す

●工部大學校 臨幸祝詞 大鳥圭介

伏て惟みるに百工は國家經濟の基本庶民衣食の根源なる工學興り工藝昌なれば地開け業進み産殖し財豊かに上下の富饒衆庶の便益之に由らざるなし明治八年工部大學校を經始し今や功竣るを奏し 陛下の親臨を忝くし以て寵光の海内に發揚す本校の洪榮何を以てか之に加へん恭く 聖旨の厚きを仰き臣等益以て黽勉職を竭し一年を逐て駸々生徒を育成し以て濟生利民の實功を觀ると將に近きにあらんとす

○駒場農學校開校祝詞○工部大學校臨幸祝辭